

# 評価版ご利用のお客様用 GeneXus & WorkWithPlus for Web 環境構築マニュアル

2023 年 4 月 第 3 版

## はじめに

この度は GeneXus をご評価いただき、ありがとうございます。

本書は GeneXus および WorkWithPlus for Web を評価するために必要な環境構築手順を説明します。

GeneXus 環境の構築手順概要は次の通りです。

1. .Net Framework /Java 環境構築
2. SQLserver インストール
3. GeneXus インストール
4. ライセンス請求
5. GeneXus の動作確認

### <備考>

- 本書では各種ソフトウェアのインストール時は必要なオプションだけ選択しています。
- 各種インストールの説明は Windows10 の画面で行います。
- GeneXus が生成するアプリケーションのデータベースには SQL Server、MySQL、PostgreSQL などが使えますが、本書では SQL Server を使用することを前提にしています。
- 評価版は新規導入のための検証用となりますので、目的によってはご提供できない場合がございます。予めご了承くださいますようお願いいたします。

本書に関するお問い合わせは

- ① パートナー企業を通じての評価の場合： パートナーご担当者様までご連絡ください。
- ② ①以外の場合：[customersupport@genexus.jp](mailto:customersupport@genexus.jp) までご連絡ください。

## 目次

|   |           |
|---|-----------|
| はじめに .....  | 2         |
| 目次 .....  | 3         |
| <b>1. .Net Framework/Java 環境構築 .....</b>                    | <b>5</b>  |
| A. .Net Framework の環境構築 .....                               | 5         |
| A-1. IIS および Microsoft .Net Framework 4.7.1 以上のインストール ..... | 5         |
| A-2. IIS のインストール確認 .....                                    | 8         |
| A-3. Microsoft URL Rewrite 2.1 のインストール .....                | 8         |
| B. Java の環境構築 .....   | 9         |
| B-1. JDK1.7 のインストール .....                                   | 9         |
| B-2. 環境変数 PATH の設定 .....                                    | 14        |
| B-3. Tomcat10 のインストール .....                                 | 17        |
| <b>2. SQLserver のインストール .....</b>                           | <b>22</b> |
| 2.1 MicrosoftR SQL ServerR 2019 のインストール .....               | 22        |
| 2.2 Management Studio のインストール（オプション） .....                  | 27        |
| 2.3 Java 環境用の SQLserver の設定 .....                           | 27        |
| 2.3.1 TCP/IP の設定 .....                                      | 27        |
| 2.3.2 ファイアウォールのポート設定 .....                                  | 30        |
| <b>3. GeneXus のインストール .....</b>                             | <b>36</b> |
| <b>4. ライセンス請求と取り込み .....</b>                                | <b>39</b> |
| 4.1 手順概要と注意点 .....  | 39        |
| 4.2 ライセンス請求ファイルの作成 .....                                    | 40        |
| 4.3 請求ファイルの送付 .....   | 43        |
| 4.4 ライセンスの取り込み .....  | 44        |
| <b>5. GeneXus の動作確認 .....</b>                               | <b>47</b> |
| 5.1 新規ナレッジベースの作成 .....                                      | 47        |
| 5.2 トランザクションオブジェクトの作成 .....                                 | 50        |
| 5.3 データベースの設定 .....   | 51        |
| 5.4 ビルドの実行 .....  | 56        |
| 5.5 実行画面の確認 .....   | 57        |
| <b>6. GeneXus ご評価者向けトレーニング動画 .....</b>                      | <b>60</b> |
| <b>7. GeneXus ファーストステップのご案内 .....</b>                       | <b>60</b> |
| <b>8. WorkWithPlus for Web の環境構築 .....</b>                  | <b>61</b> |
| 8.1 WorkWithPlus for Web のインストール .....                      | 61        |

|                          |           |
|--------------------------|-----------|
| 8.2 ライセンス請求ファイルの作成 ..... | 64        |
| 8.3 請求ファイルの送付 .....      | 66        |
| 8.4 ライセンスの取り込み .....     | 67        |
| 8.5 動作確認 .....           | 69        |
| 8.6 参考資料 .....           | 73        |
| <b>9. お問い合わせ先 .....</b>  | <b>74</b> |

# 1. .Net Framework/Java 環境構築

構築したい環境に応じて次の A か B を行ってください。

## A. .Net Framework の環境構築

### A-1. IIS および Microsoft .Net Framework 4.7.1 以上のインストール

インターネットインフォメーションサービス（IIS）および Microsoft .Net Framework 4.7.1 以上のインストールを行います。

コントロールパネルを起動 > カテゴリ表示にして「プログラム」を選択 > 「Windows 機能の有効化または無効化」を選択します。

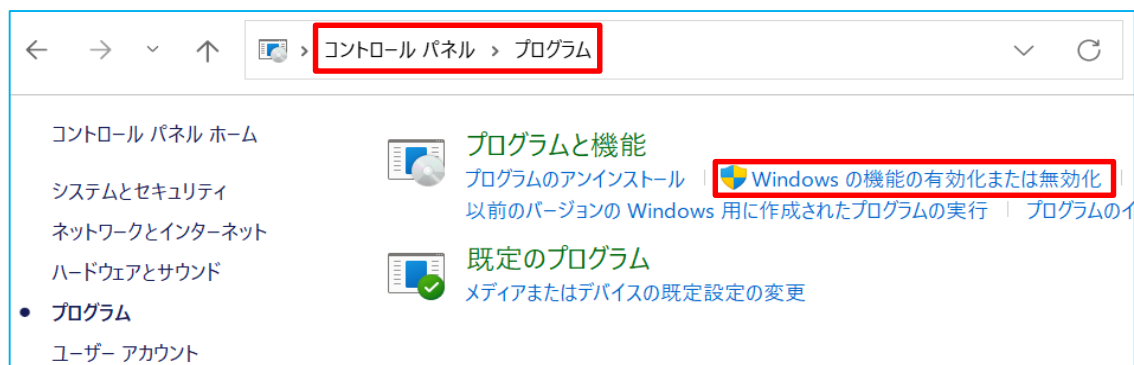


図 1、図 2（Windows 10 の例）のスクリーンショットの赤枠内でチェックマークが付いている項目をすべて選び、OK をクリックしてください。

**図 1（Windows 10 の例）**

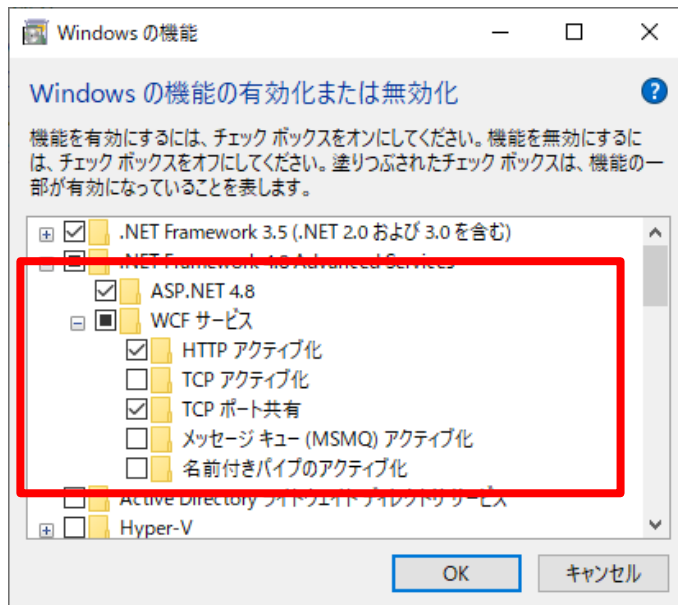
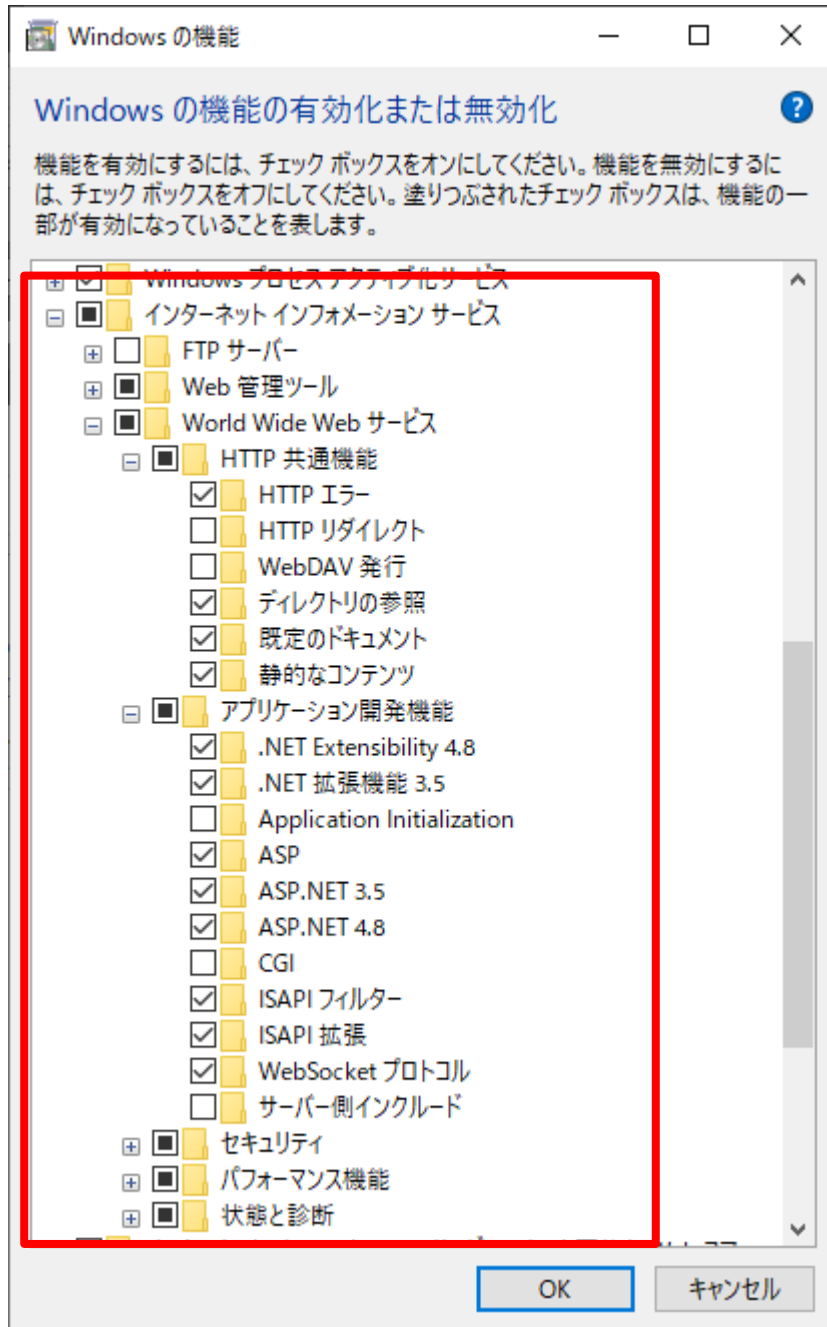


図 2 (Windows 10 の場合)

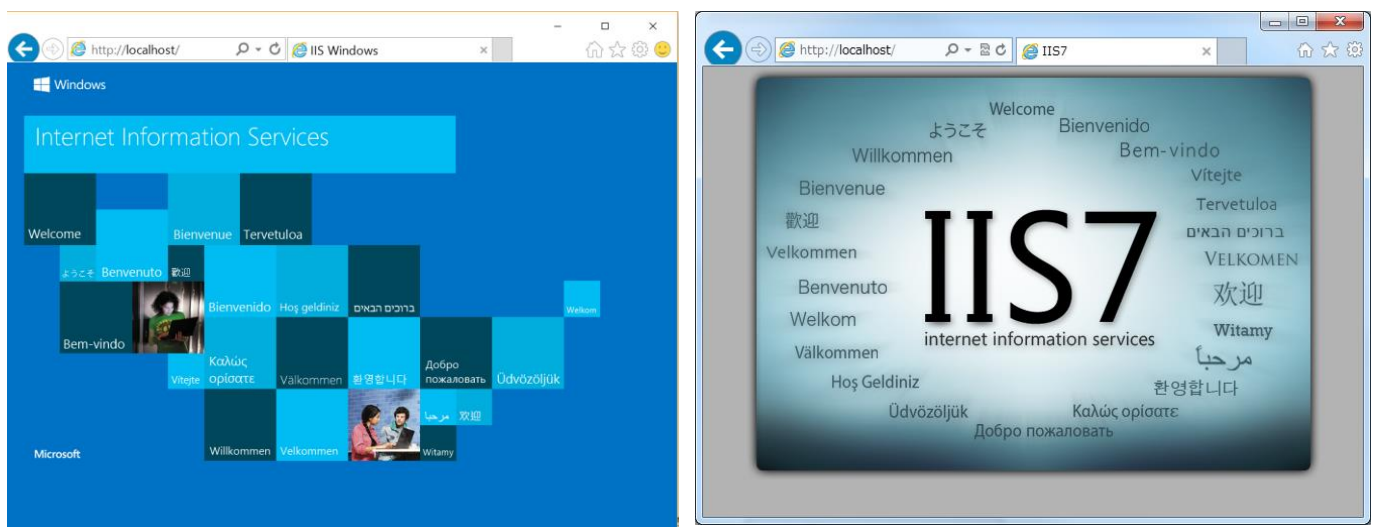


## A-2. IIS のインストール確認

ブラウザから以下の URL を参照し、図 3 のいずれかのスクリーンショットと同様の画面が表示されることを確認してください。

<http://localhost/>

図 3



※バージョンによって表示が変わります。

## A-3. Microsoft URL Rewrite 2.1 のインストール

以下のページからインストーラーをダウンロードし、インストールしてください：

<https://www.iis.net/downloads/microsoft/url-rewrite#additionalDownloads>



## B. Java の環境構築

### B-1. JDK1.7 のインストール

本書では Open JDK17 のインストール手順を説明します。

※JDK18 を使用するとビルドエラーが発生することが報告されています。（2022 年 8 月現在）

[https://sac.genexus.jp/viewtr\\_saclist.aspx?51138](https://sac.genexus.jp/viewtr_saclist.aspx?51138)

1. 下記の Web ページをブラウザで開きます。

<https://jdk.java.net/archive/>

2. 下図赤枠の zip をクリックして zip ファイルをダウンロードします。

### Archived OpenJDK General-Availability Releases

This page is an archive of previously released builds of the JDK licensed under the GNU General Public License, version 2, with Classpath Exception.

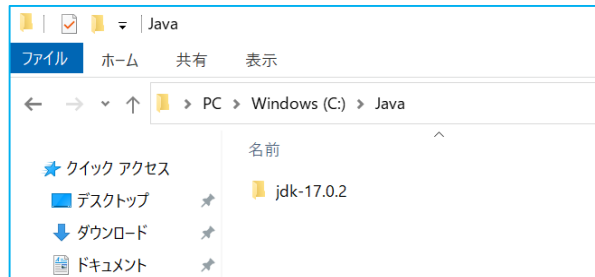
**WARNING:** These older versions of the JDK are provided to help developers debug issues in older systems. They are not updated with the latest security patches and are not recommended for use in production.

#### Releases

|                                |        |                                      |
|--------------------------------|--------|--------------------------------------|
| <b>18 GA (build 18+36)</b>     |        |                                      |
| Windows                        | 64-bit | zip (sha256) 178M                    |
| Mac/AArch64                    | 64-bit | tar.gz (sha256) 174M                 |
| Mac/x64                        | 64-bit | tar.gz (sha256) 176M                 |
| Linux/AArch64                  | 64-bit | tar.gz (sha256) 177M                 |
| Linux/x64                      | 64-bit | tar.gz (sha256) 179M                 |
|                                | Source | Tags are jdk-18+36, jdk-18-ga        |
| <b>17.0.2 (build 17.0.2+8)</b> |        |                                      |
| Windows                        | 64-bit | zip (sha256) 178M                    |
| Mac/AArch64                    | 64-bit | tar.gz (sha256) 174M                 |
| Mac/x64                        | 64-bit | tar.gz (sha256) 176M                 |
| Linux/AArch64                  | 64-bit | tar.gz (sha256) 178M                 |
| Linux/x64                      | 64-bit | tar.gz (sha256) 179M                 |
|                                | Source | Tags are jdk-17.0.2+8, jdk-17.0.2-ga |

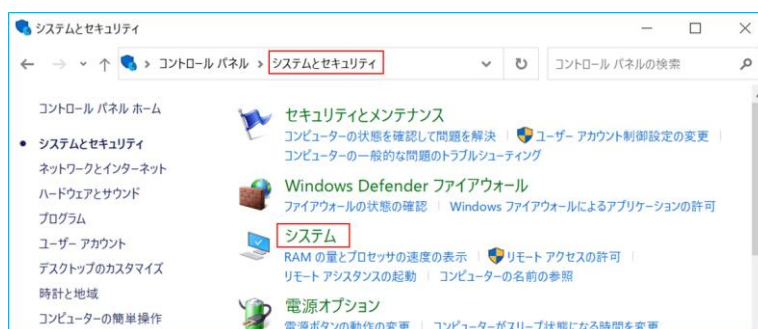
3. zip ファイルを解凍して「jdk-xxx」フォルダを任意の場所に配置します。

本書では「C:¥Java」に配置します。

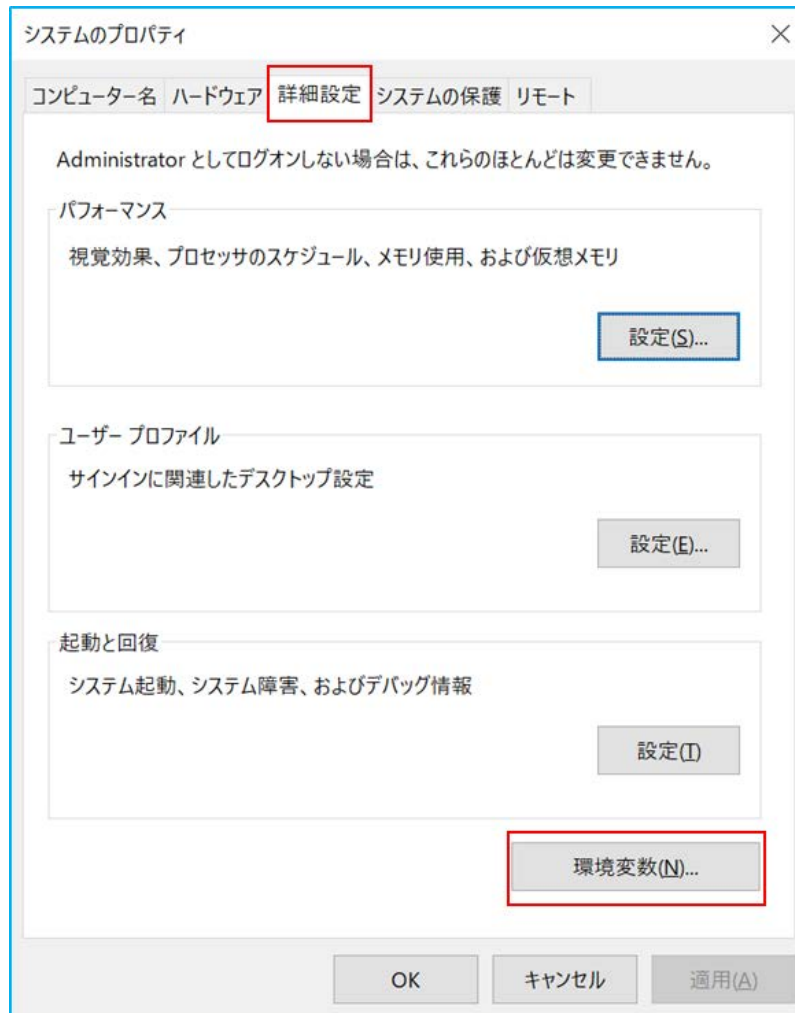


4. 環境変数の設定を行います。

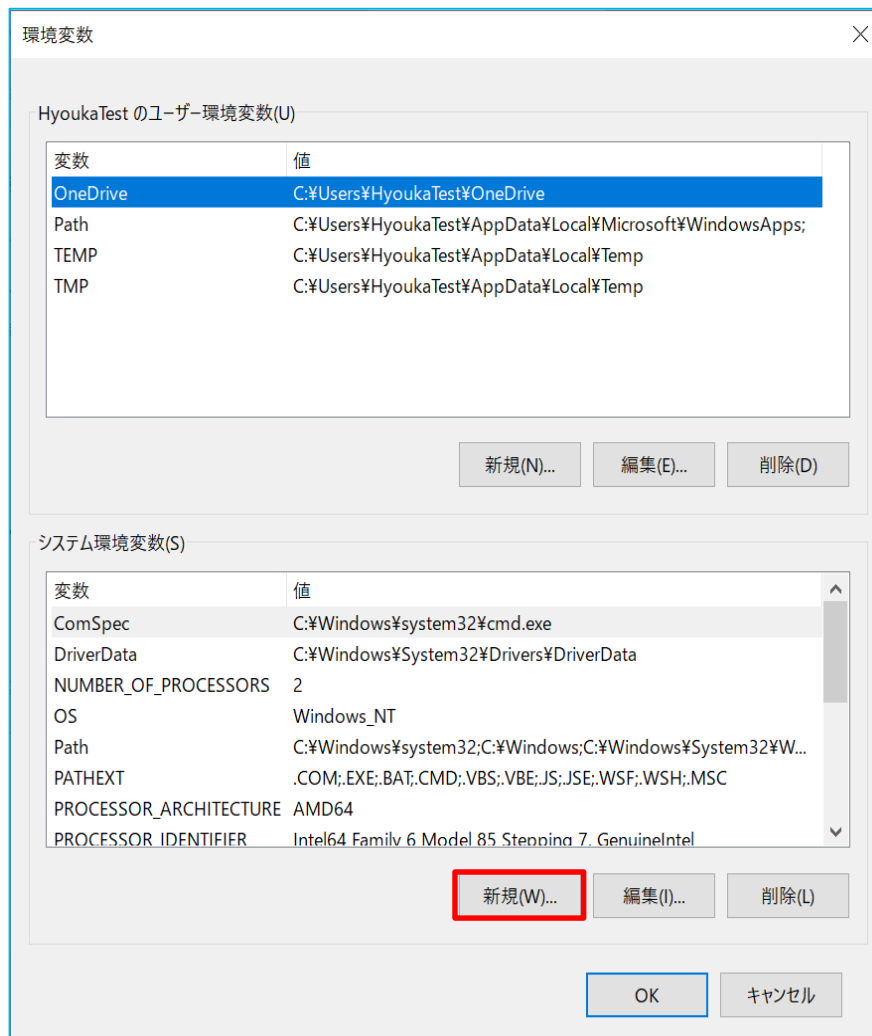
コントロールパネルから、「システムとセキュリティ」→「システム」→「システムの詳細設定」を開きます。



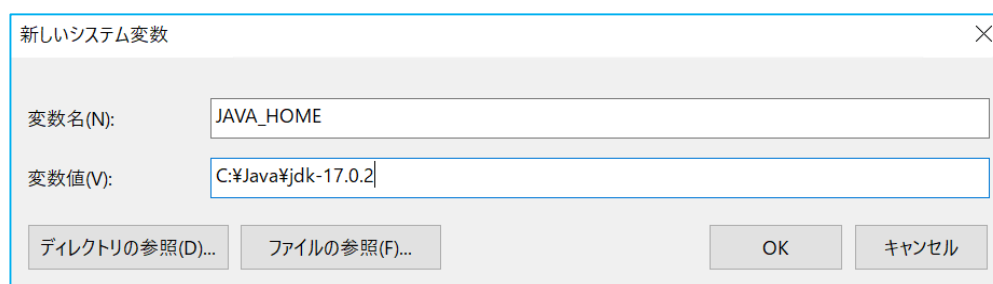
5. 「詳細設定」タブの「環境変数」をクリックします。



6. システム環境変数(S) の「新規」をクリックします。

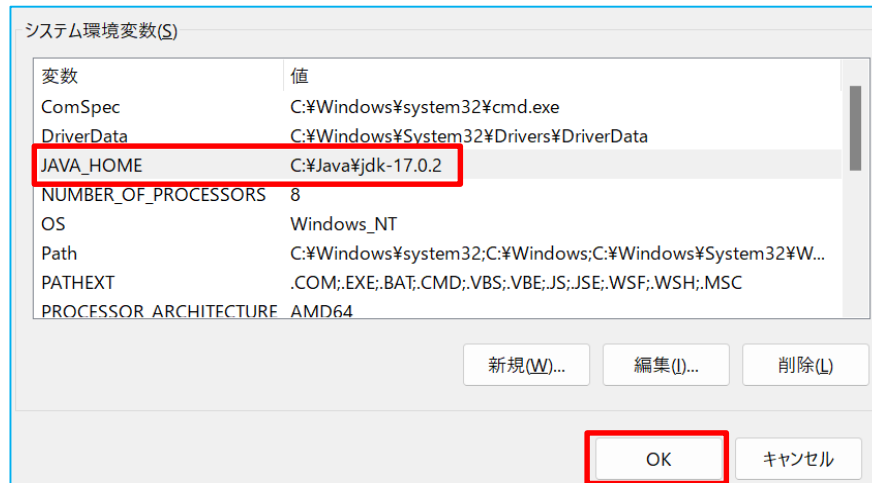


7. 変数名(N)に「JAVA\_HOME」、変数値(V)に手順 3 で配置した jdk フォルダのパスを指定します。

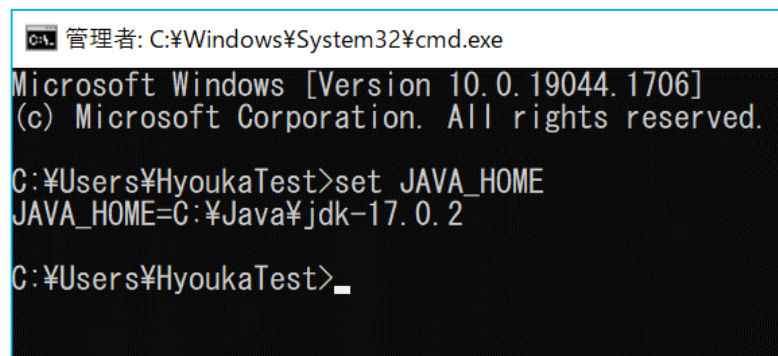


OK をクリックします。

8. システム環境変数(S)で先ほど入力した値が表示されれば OK をクリックします。



9. コマンドプロンプトで「set JAVA\_HOME」を実行し、JDK のバージョンが表示されることを確認します。



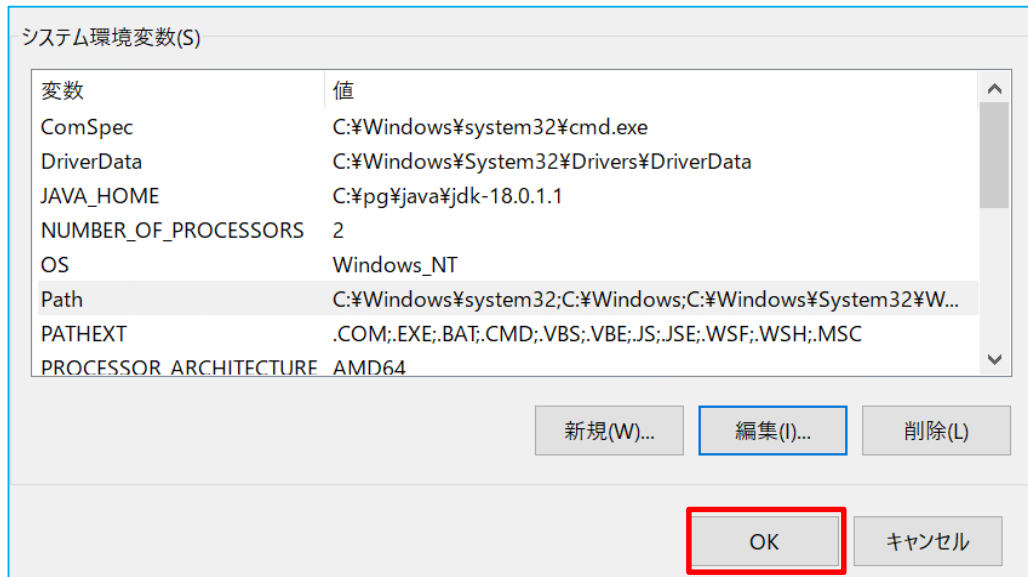
## B-2. 環境変数 PATH の設定

1. 次の画面（B-1 の 5）で「詳細設定」タブの「環境変数」をクリックします。





4. 「OK」をクリックして開いている画面を閉じます。



5. コマンドプロンプトで「javac -version」を実行して Java のバージョンを確認します。

```

C:\> 管理者: C:¥Windows¥System32¥cmd.exe
Microsoft Windows [Version 10.0.19044.1706]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:¥Users¥HyoukaTest>javac -version
javac 17.0.2

C:¥Users¥HyoukaTest>_
  
```

次のエラーが表示される場合は PATH の設定が間違っている可能性があります。もしくは端末を再起動すると解消される場合があります。

'javac' は、内部コマンドまたは外部コマンド、  
操作可能なプログラムまたはバッチ ファイルとして認識されていません。



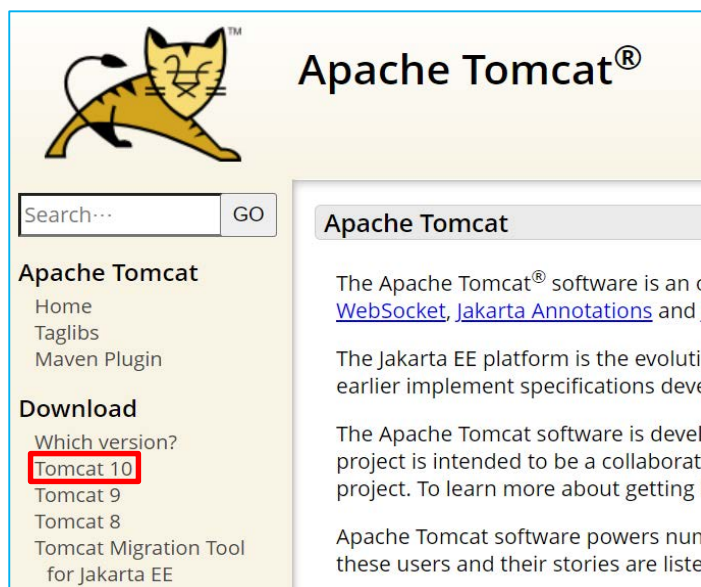
### B-3. Tomcat10 のインストール

本書では Tomcat10 のインストール手順を説明します。

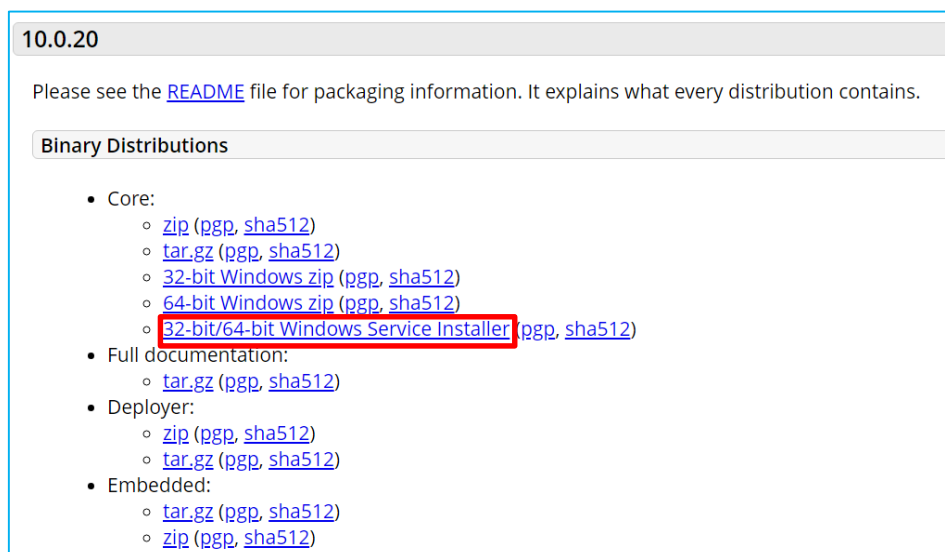
1. 下記の Web ページをブラウザで開きます。

<https://tomcat.apache.org/>

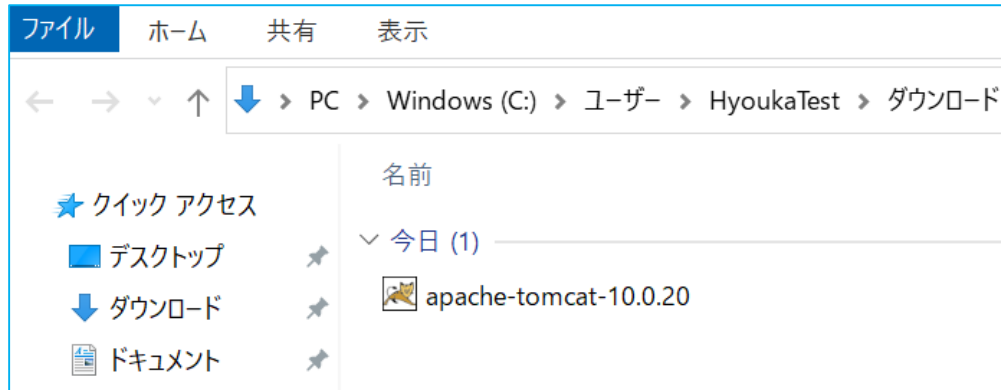
2. 下図赤枠をクリックします。



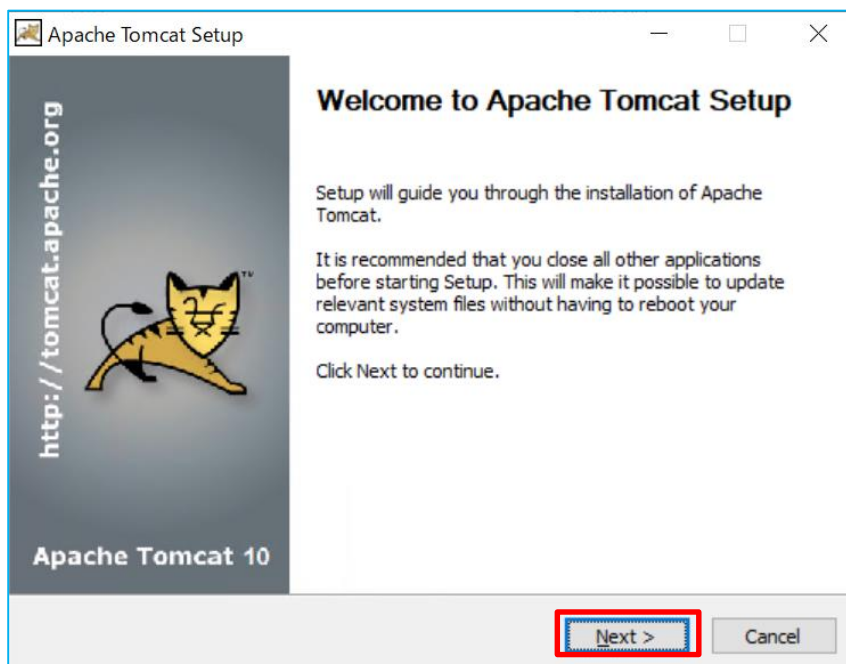
3. 下図赤枠をクリックしてインストーラーをダウンロードします。



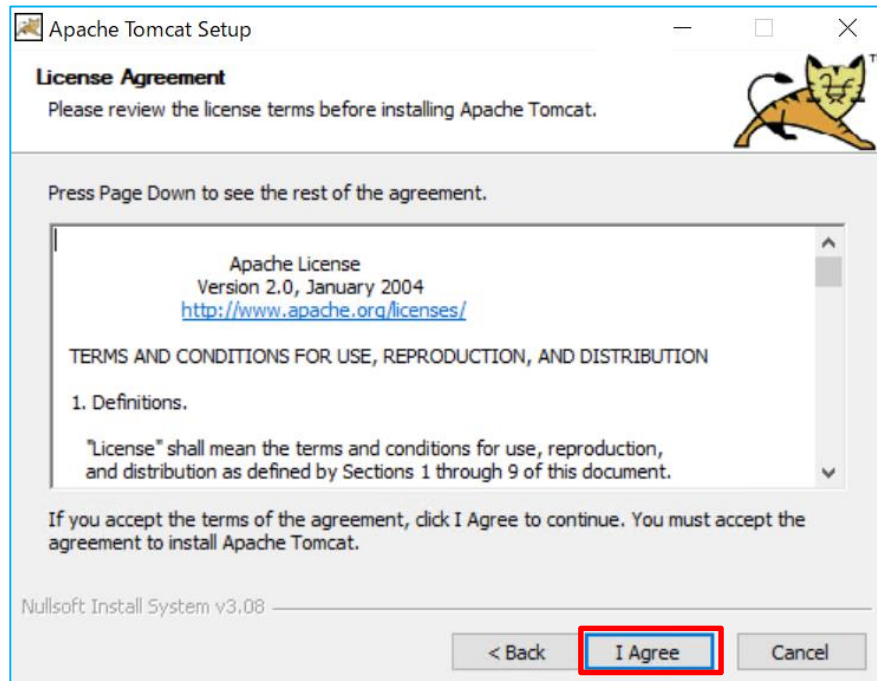
4. zip ファイルを解凍してインストーラーを実行します。



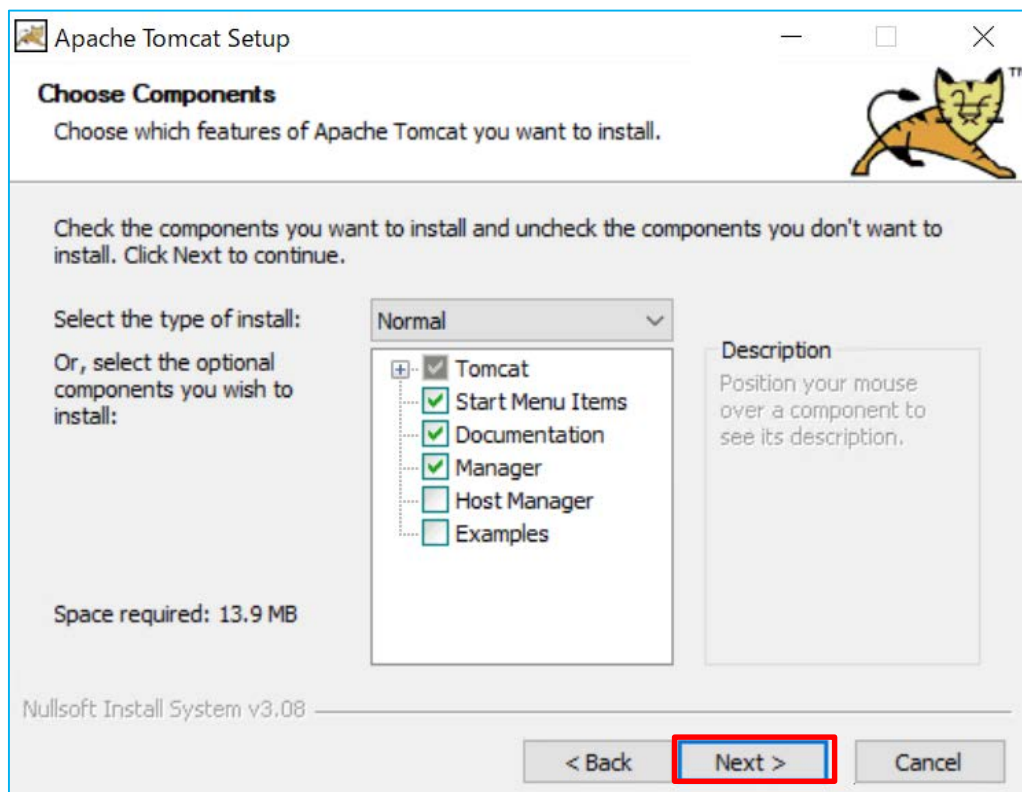
5. 「Next」をクリックします。



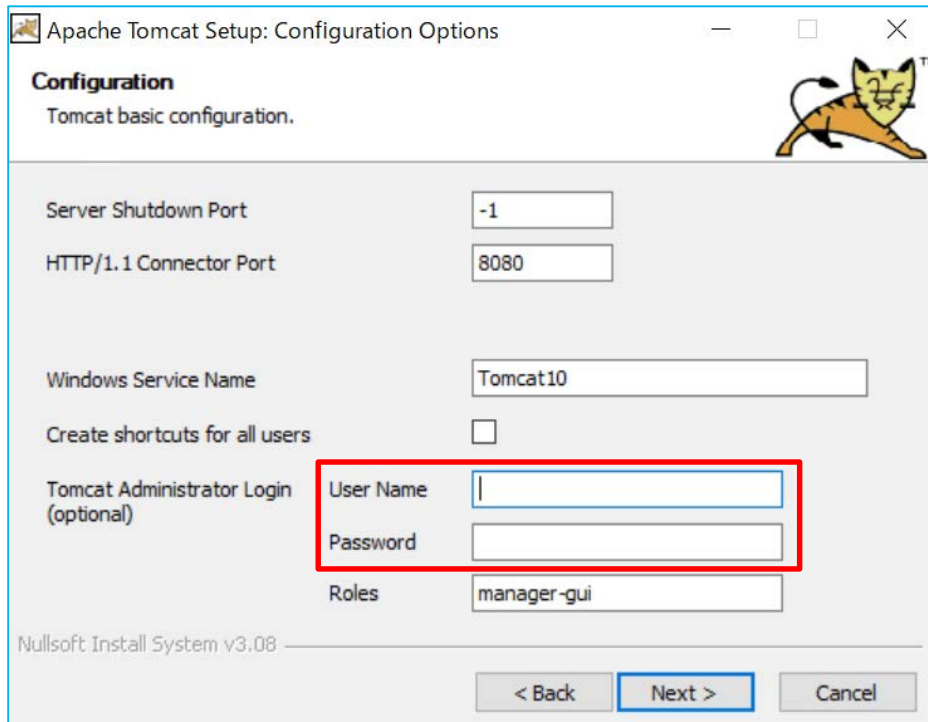
6. 「I Agree」をクリックします。



7. 「Next」をクリックします。



8. 任意の User Name と Password を入力して「Next」をクリックします。



Apache Tomcat Setup: Configuration Options

**Configuration**  
Tomcat basic configuration.

Server Shutdown Port: -1

HTTP/1.1 Connector Port: 8080

Windows Service Name: Tomcat10

Create shortcuts for all users: ☐

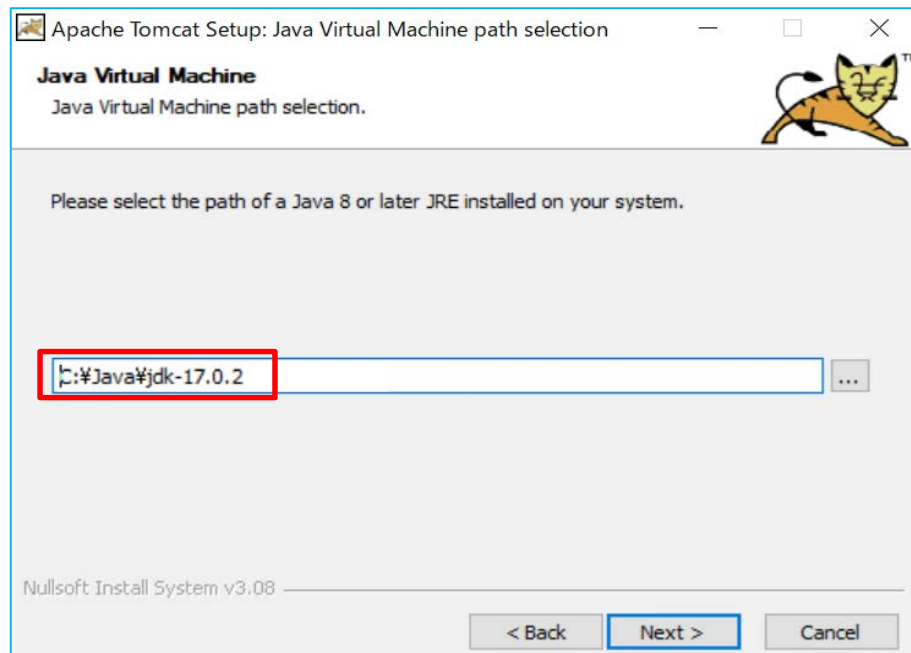
Tomcat Administrator Login (optional):

- User Name:
- Password:
- Roles: manager-gui

Nullsoft Install System v3.08

< Back Next > Cancel

9. JDK のフォルダを指定して「Next」をクリックします。



Apache Tomcat Setup: Java Virtual Machine path selection

**Java Virtual Machine**  
Java Virtual Machine path selection.

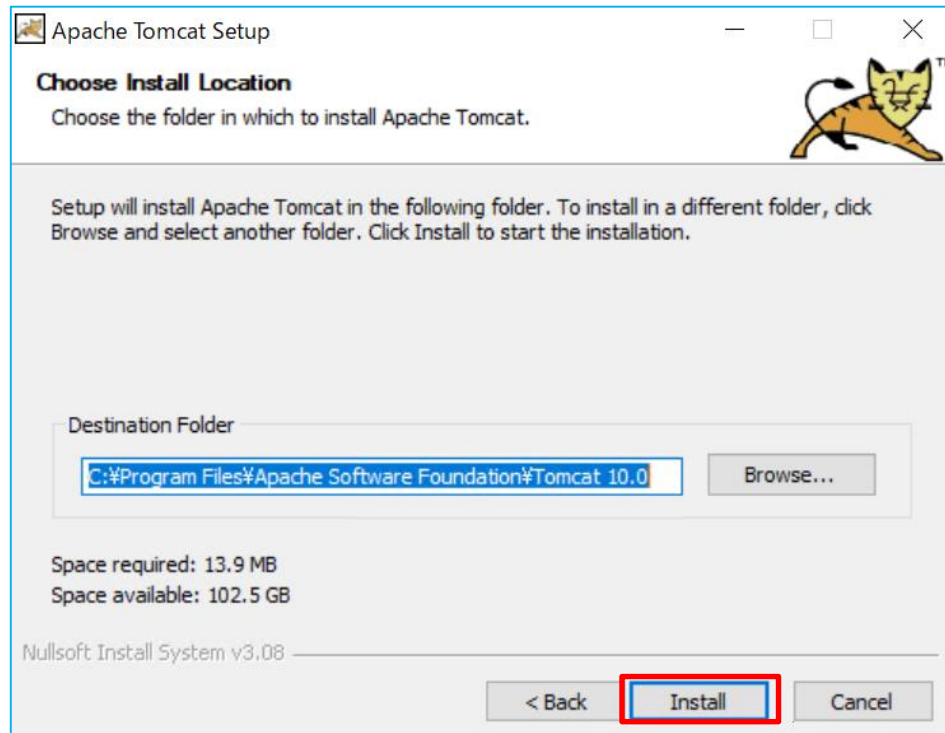
Please select the path of a Java 8 or later JRE installed on your system.

C:\Program Files\Java\jdk-17.0.2

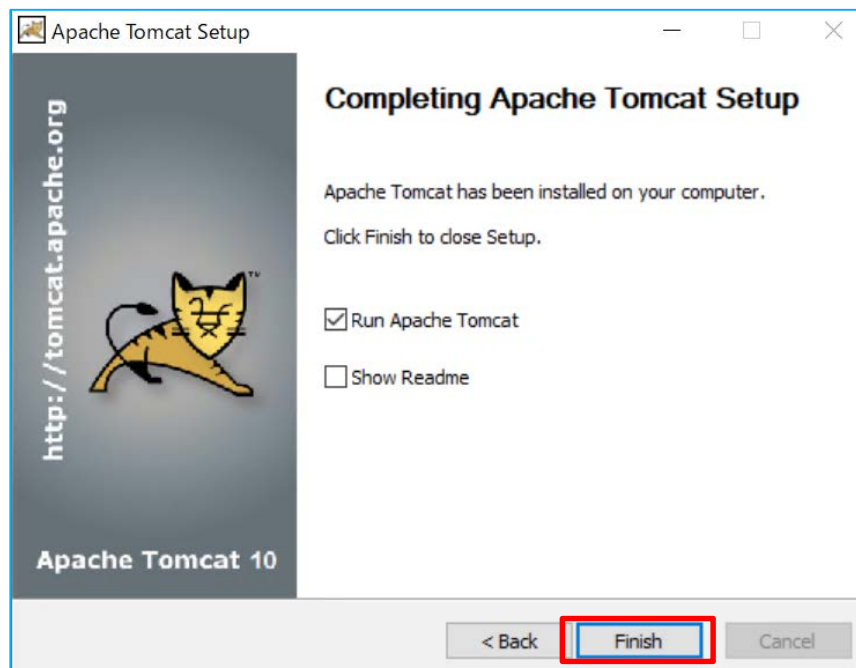
Nullsoft Install System v3.08

< Back Next > Cancel

10. 「Install」 をクリックします。



11. 「Finish」 をクリックします。



## 2. SQLserver のインストール

### 2.1 MicrosoftR SQL ServerR 2019 のインストール

1. 以下のページからインストーラーをダウンロードし、インストールします：

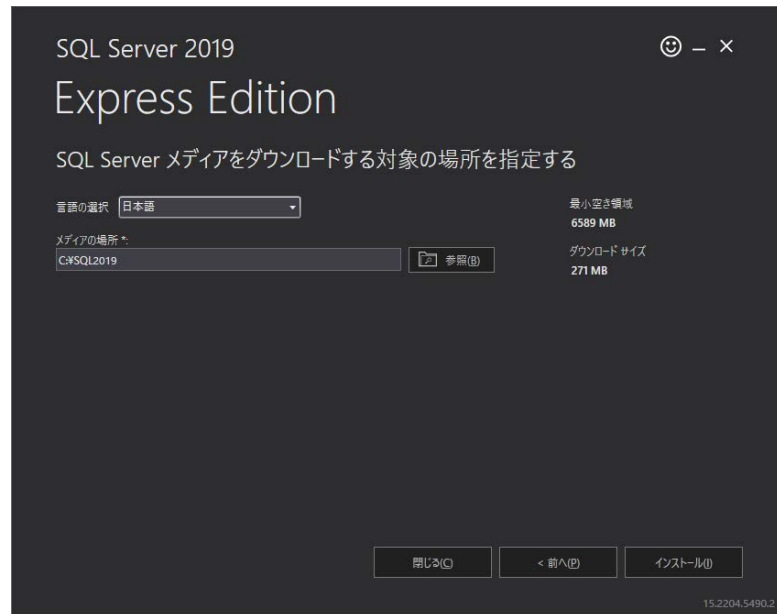
<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=101064>

2022 年 8 月現在、「2019」のご利用を推奨しています。

2. ダウンロードしたインストーラー(SQL2019-SSEI-Expr.exe)を実行し、表示される下記画面にて「カスタム」を選択します。



3. インストールメディアのダウンロードについて指定する画面が表示されます。必要に応じて「メディアの場所」を変更し、「インストール」をクリックします。

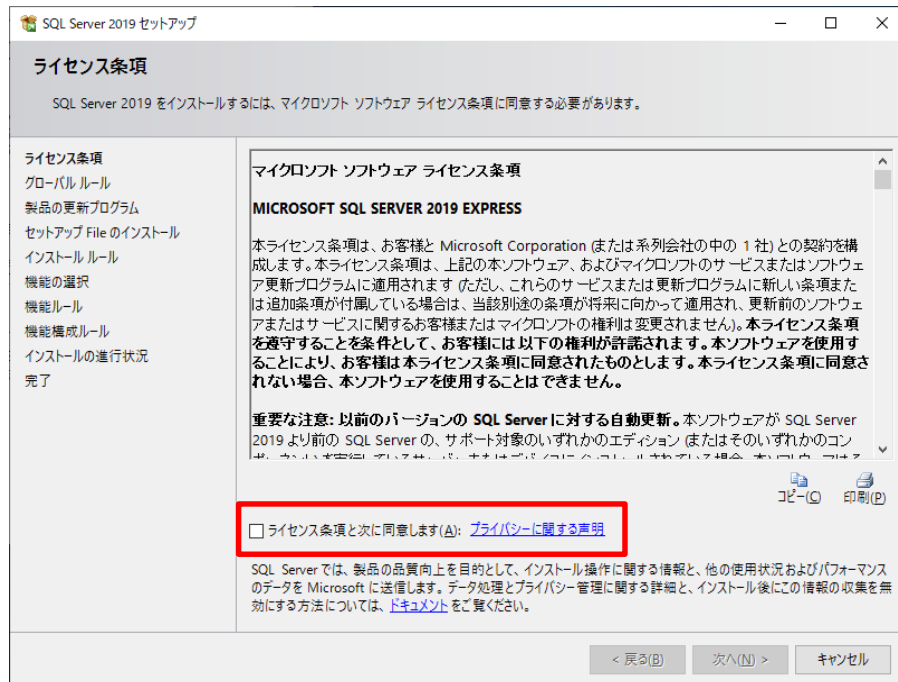


4. インストールメディアのダウンロードおよびインストールが完了すると、「SQL Server インストールセンター」が表示されます。「SQL Server の新規スタンドアロン インストールを実行するか、既存のインストールに機能を追加」をクリックします。

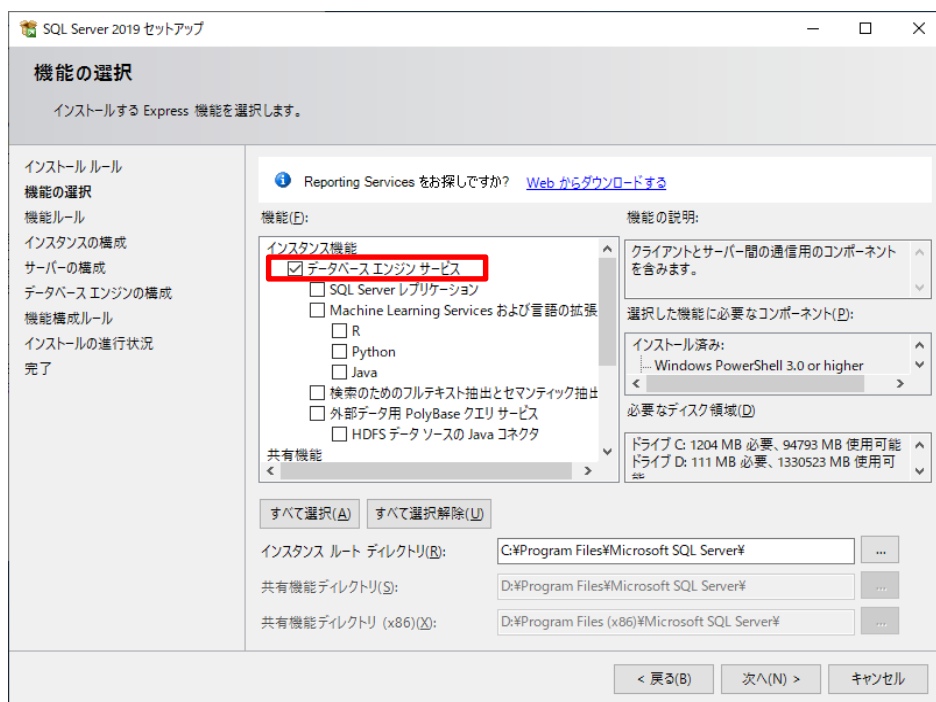




5. 「SQL Server 2019 セットアップ」が表示されます。ライセンス条項に同意し、「次へ」をクリックします。



6. 表示に従い、「次へ」をクリックし、「機能の選択」まで進みます。  
「データベースエンジンサービス」のみを選択して「次へ」をクリックします。





7. 「インスタンスの構成」では、表示されたままの「名前付きインスタンス」が選択され、名前が「SQLEXPRESS」となったままとします。「次へ」をクリックします。

SQL Server 2019 セットアップ

### インスタンスの構成

SQL Server インスタンスの名前およびインスタンス ID を指定します。インスタンス ID は、インストール パスの一部になります。

インストール ルール  
機能の選択  
機能ルール  
インスタンスの構成  
サーバーの構成  
データベース エンジンの構成  
機能構成ルール  
インストールの進行状況  
完了

☐ 既定のインスタンス(D)

☒ 名前付きインスタンス(A): **SQLEXPRESS**

インスタンス ID(I): **SQLEXPRESS**

SQL Server ディレクトリ(D): D:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL15.SQLEXPRESS

インストール済みインスタンス(L):

| インスタンス名 | インスタンス ID | 機能 | エディション | バージョン |
|---------|-----------|----|--------|-------|
|---------|-----------|----|--------|-------|

< 戻る(B)    次へ(N) >    キャンセル

8. 「サーバーの構成」では、表示される「照合順序」タブにて「Japanese\_CI\_AS」が指定されていることを確認します。もし、「Japanese\_CI\_AS」でない場合、「カスタマイズ」をクリックし、変更します。「次へ」をクリックします。

SQL Server 2019 セットアップ

### サーバーの構成

サービス アカウントと照合順序の構成を指定します。

インストール ルール  
機能の選択  
機能ルール  
インスタンスの構成  
サーバーの構成  
データベース エンジンの構成  
機能構成ルール  
インストールの進行状況  
完了

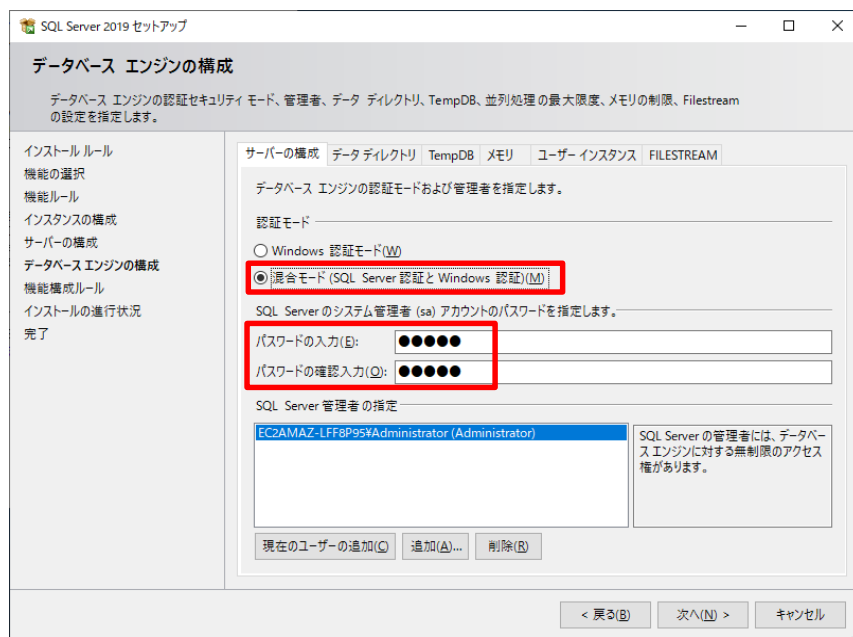
サービス アカウント    **照合順序**

データベース エンジン(D): **Japanese\_CI\_AS**    カスタマイズ(C)...

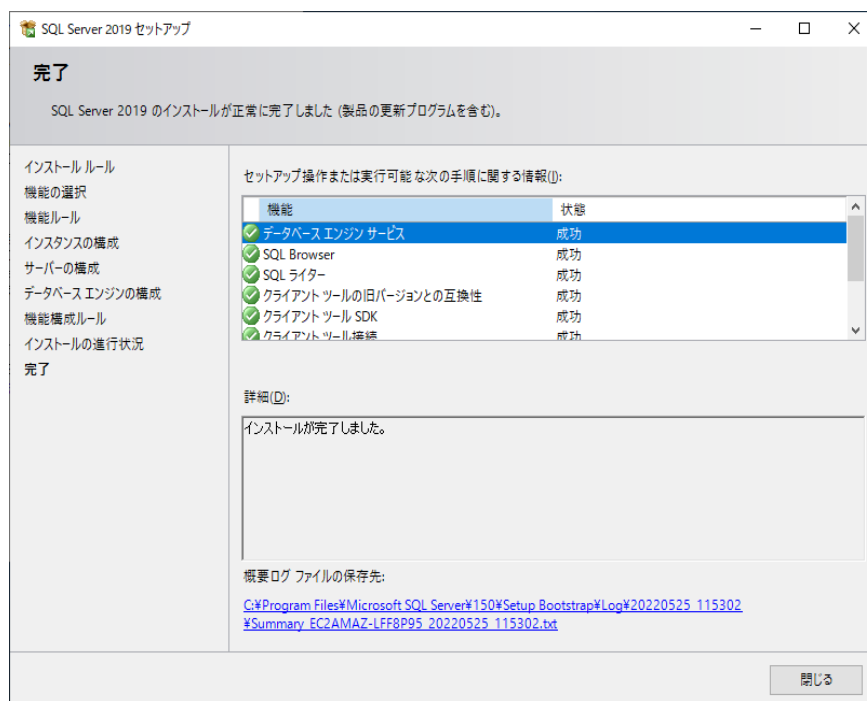
Japanese、大文字と小文字を区別しない、アクセントを区別する、かなを区別しない、文字幅を区別しない

< 戻る(B)    次へ(N) >    キャンセル

9. 「データベース エンジンの構成」では、「サーバーの構成」タブで「混合モード」を選択し、任意のパスワードを入力します。※アカウントは sa です。  
「次へ」をクリックします。



10. 「完了」画面でエラーが表示されていない場合はインストールは完了です。



## 2.2 Management Studio のインストール（オプション）

Management Studio を下記よりダウンロードします。（トラブルシュートのために利用する場合があります。）

<https://docs.microsoft.com/en-us/sql/ssms/download-sql-server-management-studio-ssms?view=sql-server-ver15#available-languages>

ダウンロードする場合、表示されるリンクのうち、「Japanese」のリンクよりダウンロードを行います。

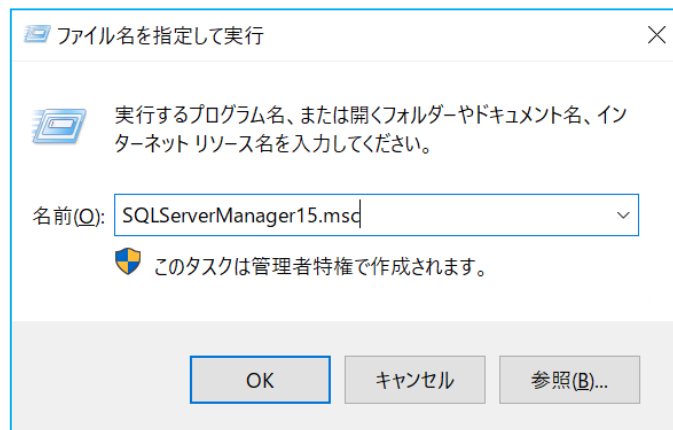
## 2.3 Java 環境用の SQLserver の設定

Java 環境で SQLserver を使用する場合、次の設定を行う必要があります。

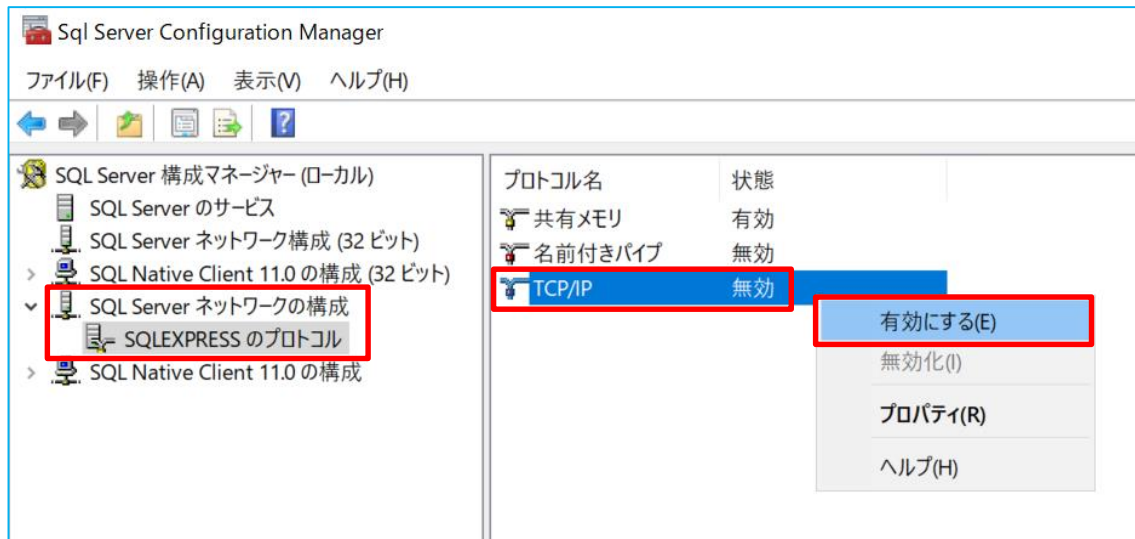
### 2.3.1 TCP/IP の設定

1. SQLserver 構成マネージャーを開きます。

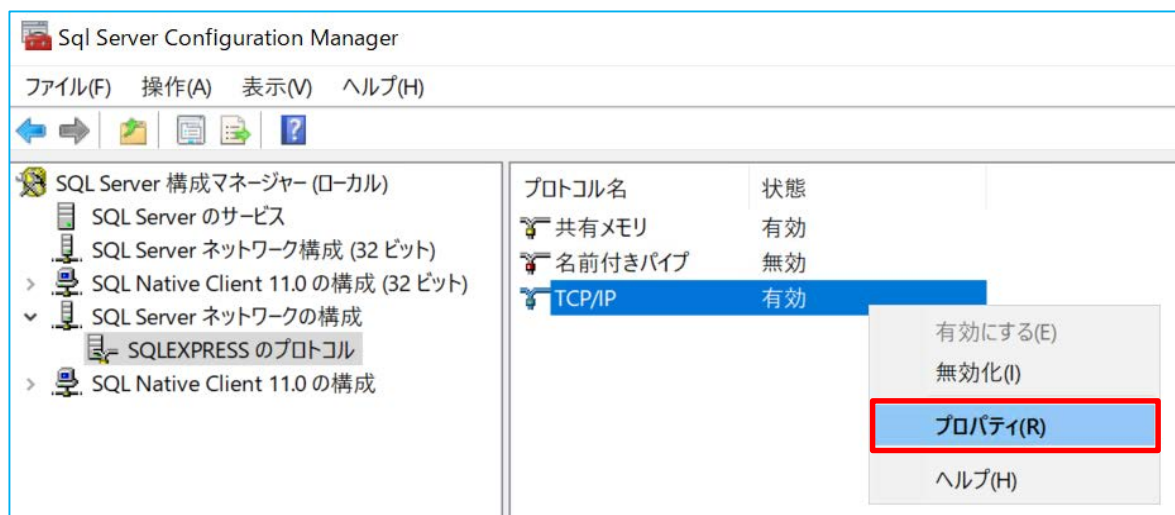
例：Windows キー + R を押下して表示される次の画面で「SQLServerManager15.msc（SQLserver2019 の場合）」を入力して「OK」をクリックする。



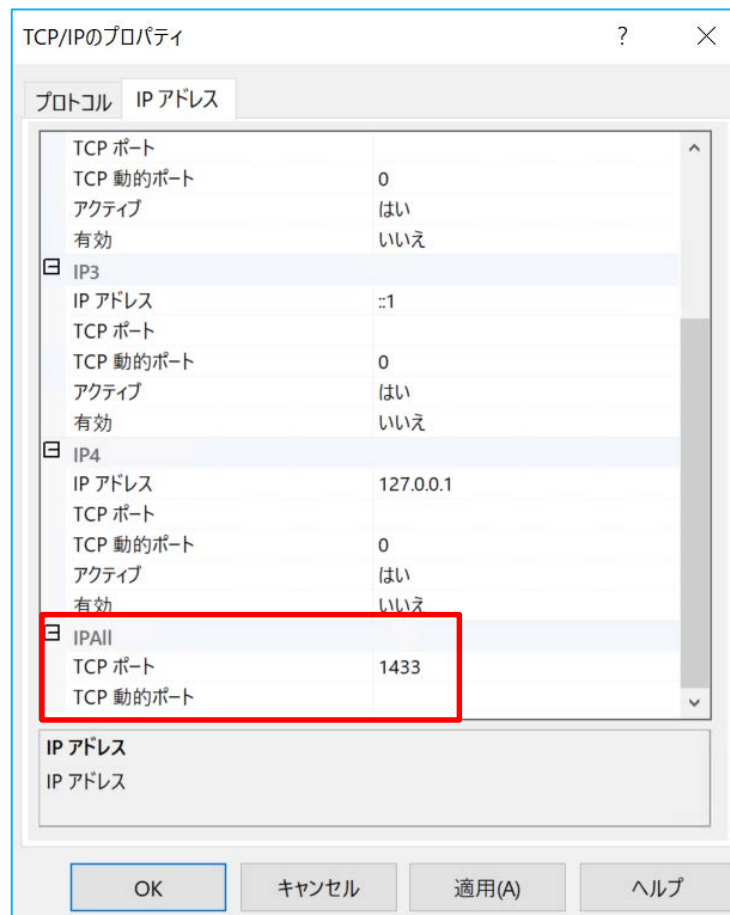
2. SQLserver 構成マネージャーにて、「SQLserver ネットワークの構成」配下にある「SQLEXPRESS のプロトコル」を選択し、画面右に表示される「TCP/IP」を選択し、右クリックして、「有効にする」を選択します。



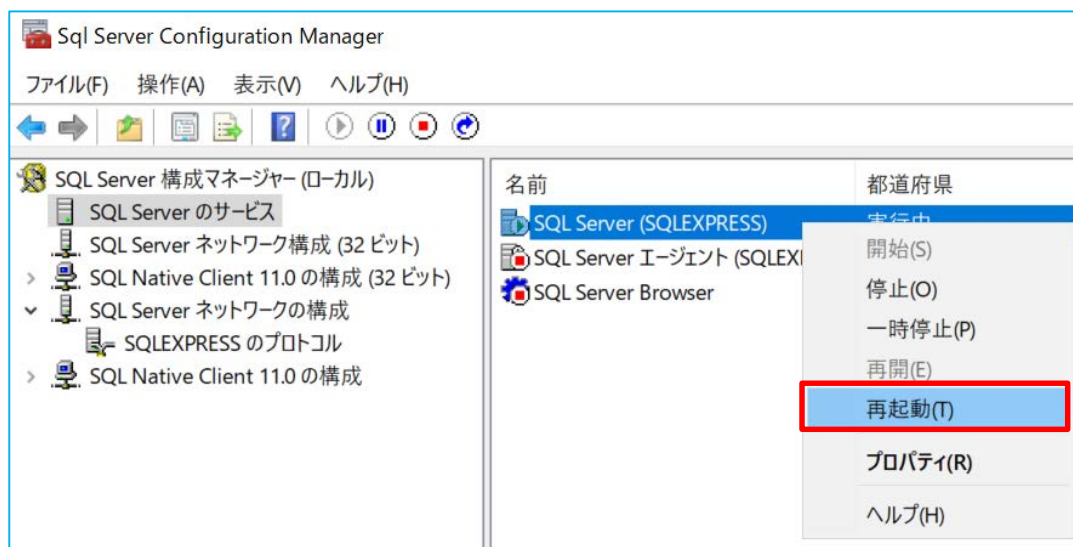
3. 「TCP/IP」を選択したままもう一度右クリックをして、「プロパティ」を選択します。



4. 「IP アドレス」タブにて、IPAI の「TCP ポート」に「1433」を入力して、「OK」をクリックします。

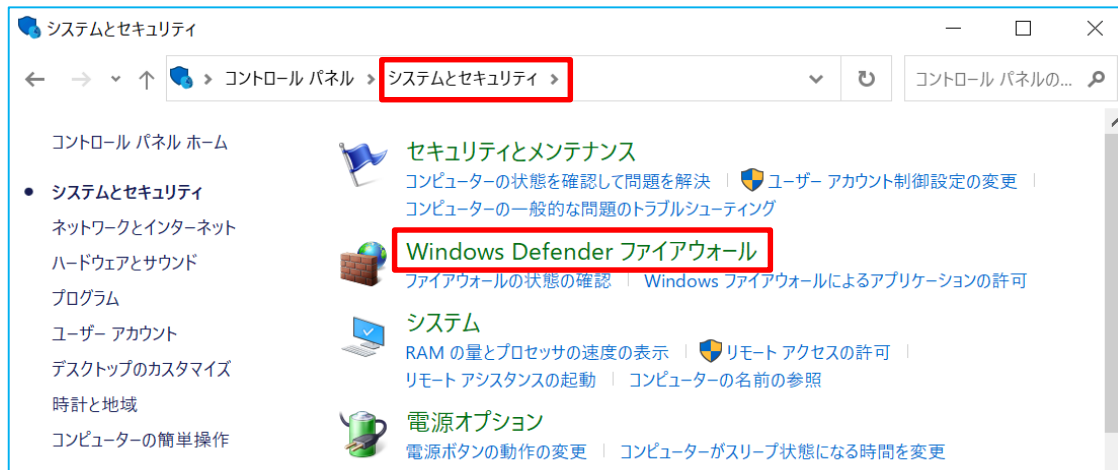


5. 次のように SQLserver を再起動します。



## 2.3.2 ファイアウォールのポート設定

1. コントロールパネル → システムとセキュリティ → Windows Defender ファイアウォール を開きます。



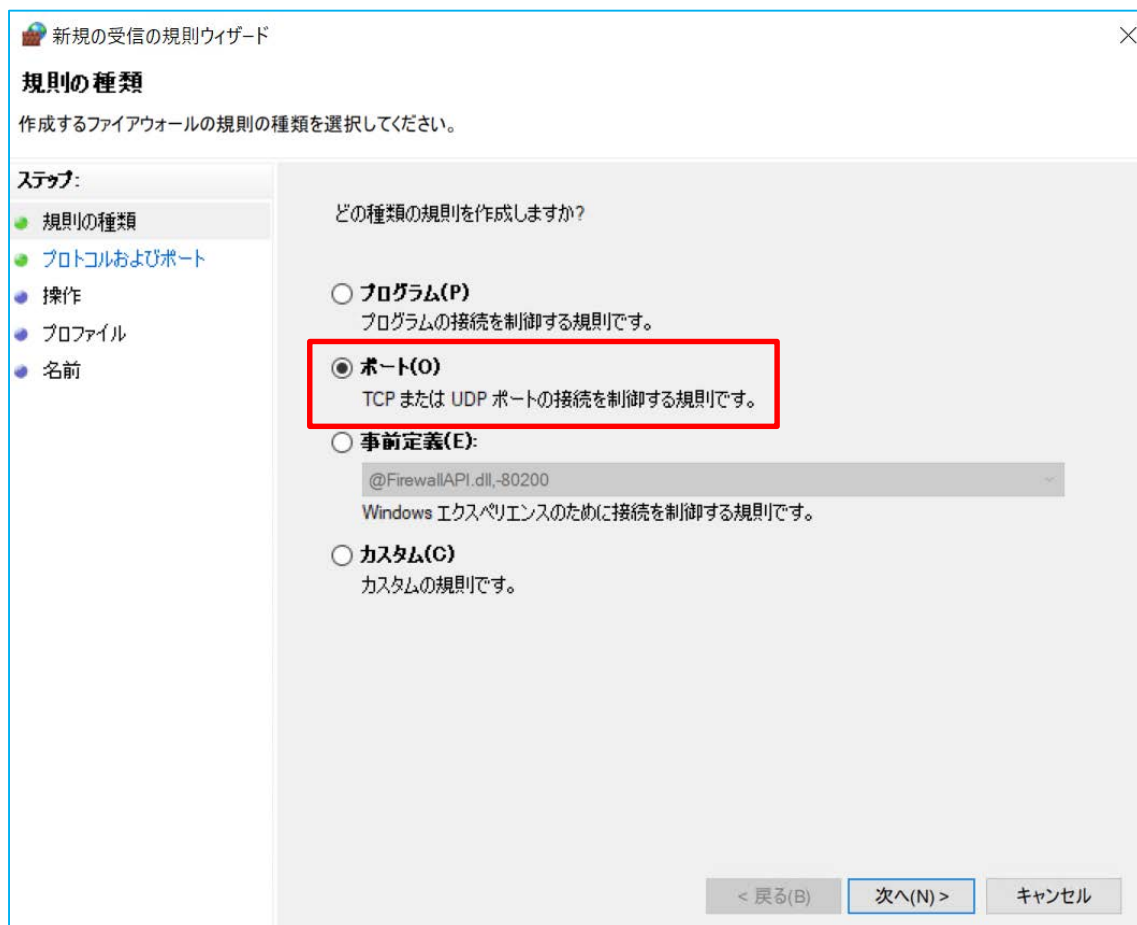
2. 「詳細設定」を開きます



3. 「受信の規則」を選択し、画面右の「新しい規則」をクリックします。



4. 「ポート」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



5. 「特定のローカル ポート」にチェックを入れ、「1433」を入力して「次へ」をクリックします。



6. 「接続を許可する」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。

新規の受信の規則ウィザード

**操作**

規則で指定された条件を接続が満たす場合に、実行される操作を指定します。

**ステップ:**

- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- プロファイル
- 名前

接続が指定の条件に一致した場合に、どの操作を実行しますか?

☒ **接続を許可する(A)**  
IPsec を使用して保護された接続と保護されていない接続の両方を含みます。

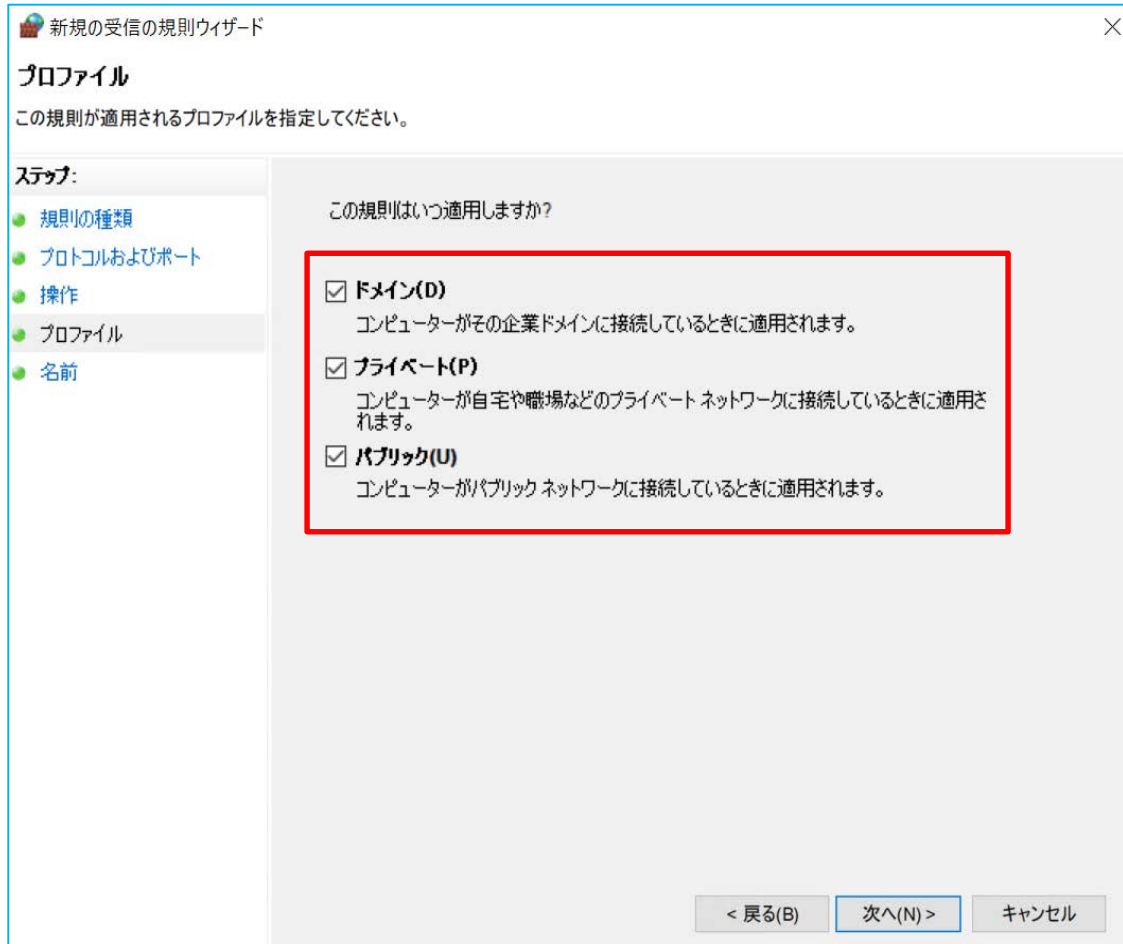
☐ **セキュリティで保護されている場合のみ接続を許可する(C)**  
IPsec を使用して認証された接続のみを含みます。接続は、IPsec プロパティ内の設定と接続セキュリティ規則ノード内の規則を使用して、セキュリティ保護されます。

[カスタマイズ\(N\)...](#)

☐ **接続をブロックする(K)**

< 戻る(B)    次へ(N) >    キャンセル

7. 特に理由がなければ赤枠はそのまま「次へ」をクリックします。



新規の受信の規則ウィザード

**プロフィール**

この規則が適用されるプロフィールを指定してください。

**ステップ:**

- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- **プロフィール**
- 名前

この規則はいつ適用しますか?

- ☒ **ドメイン(D)**  
コンピューターがその企業ドメインに接続しているときに適用されます。
- ☒ **プライベート(P)**  
コンピューターが自宅や職場などのプライベート ネットワークに接続しているときに適用されます。
- ☒ **パブリック(U)**  
コンピューターがパブリック ネットワークに接続しているときに適用されます。

< 戻る(B)    次へ(N) >    キャンセル

8. 赤枠に任意の名前を入力して、「完了」をクリックします。

新規の受信の規則ウィザード

**名前**

この規則の名前と説明を指定してください。

**ステップ:**

- 規則の種類
- プロトコルおよびポート
- 操作
- プロファイル
- **名前**

名前(N):  
JavaSQL

説明 (オプション)(D):

< 戻る(B)    完了(F)    キャンセル

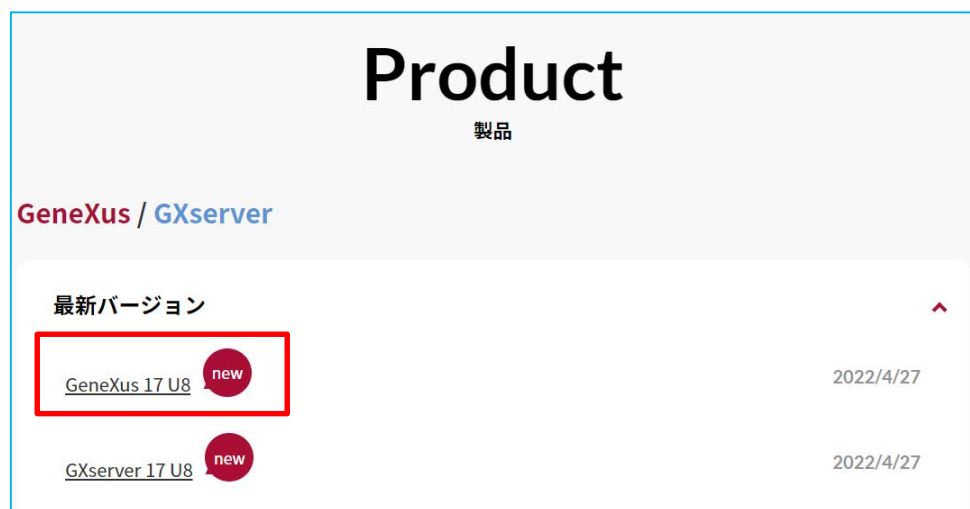
### 3. GeneXus のインストール

本書で一例として「GeneXus17U8」のインストール手順を説明します。

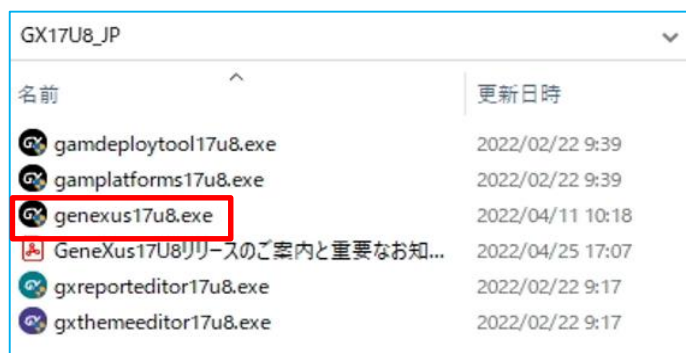
1. 次の Web ページから「最新」の GeneXus をダウンロードします。

<https://www.genexus.jp/community-and-support-jp/downloads02>

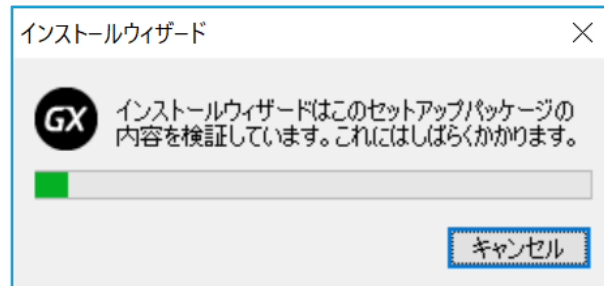
最新バージョン配下にある「GeneXus」をクリックしてダウンロードします。



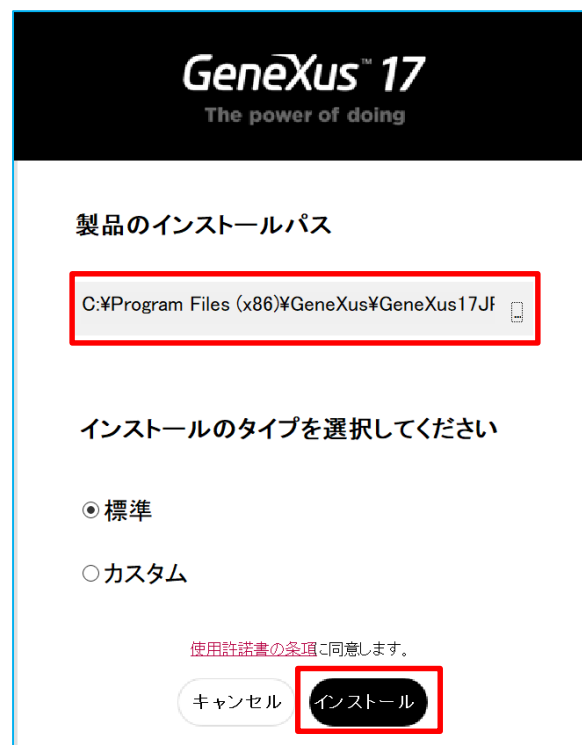
2. ダウンロードした zip ファイルを解凍して、フォルダの中にある「genexus~.exe」を「管理者として実行」します。



3. 次のような「インストールウィザード」画面が表示されます。



4. GeneXus のインストールパスを指定して「インストール」をクリックします。  
既定のパスに問題がなければ、そのまま「インストール」をクリックします。



5. 次の画面が表示されたら「閉じる」をクリックします。



インストールが完了すると、デスクトップに GeneXus のショートカットアイコンが作成されます。  
GeneXus を起動するときに使用しますので削除しないでください。

## 4. ライセンス請求と取り込み

### 4.1 手順概要と注意点

#### ● 手順概要

GeneXus を使用するためには、GeneXus をインストールした端末にて GeneXus ライセンスを取り込む必要があります。ライセンス取り込みの手順概要は次の通りです。

- ① ユーザーがライセンス請求ファイルの作成
- ② ユーザーが請求ファイルを GeneXus Japan に送付
- ③ GeneXus Japan がライセンスを送付
- ④ ユーザーがライセンスを取り込む

注意：パートナーを介して評価を行う場合はパートナーを経由してライセンス請求を行ってください。

ユーザーが実施する①②④を説明します。

#### ● 注意点

GeneXus Japan のライセンス請求受付日時は次の通りです。

◆土日祝日・年末年始を除く 9 時～16 時

時間外での請求は翌営業日の対応となります。予めご了承ください。

ライセンスのご提供は、最短で「ライセンス請求受付日の翌営業日」となります。

2～3 営業日を要する場合もございますので、ご了承ください。

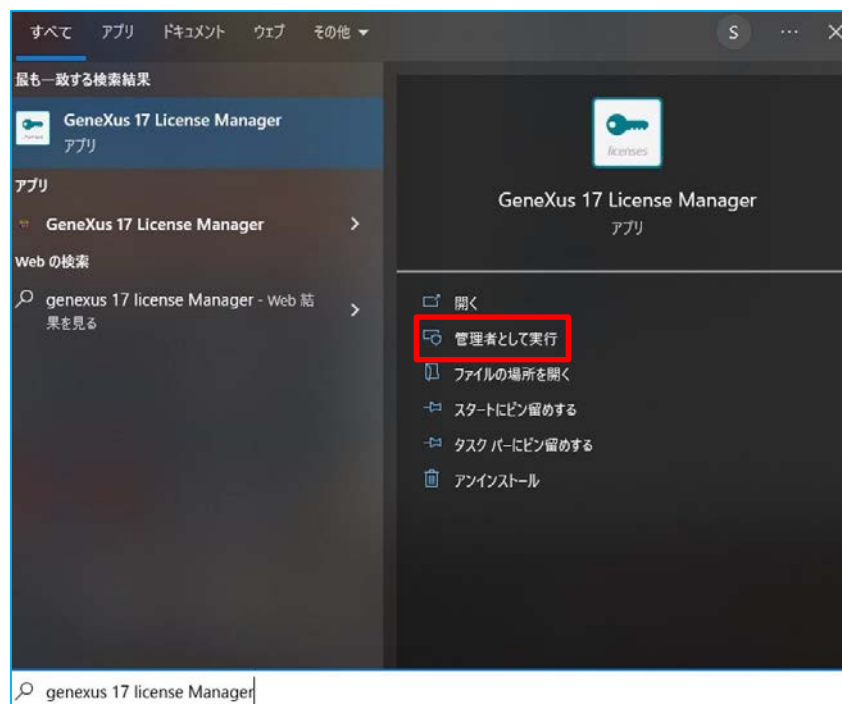
## 4.2 ライセンス請求ファイルの作成

ライセンスマネージャーでライセンス請求ファイルを作成します。

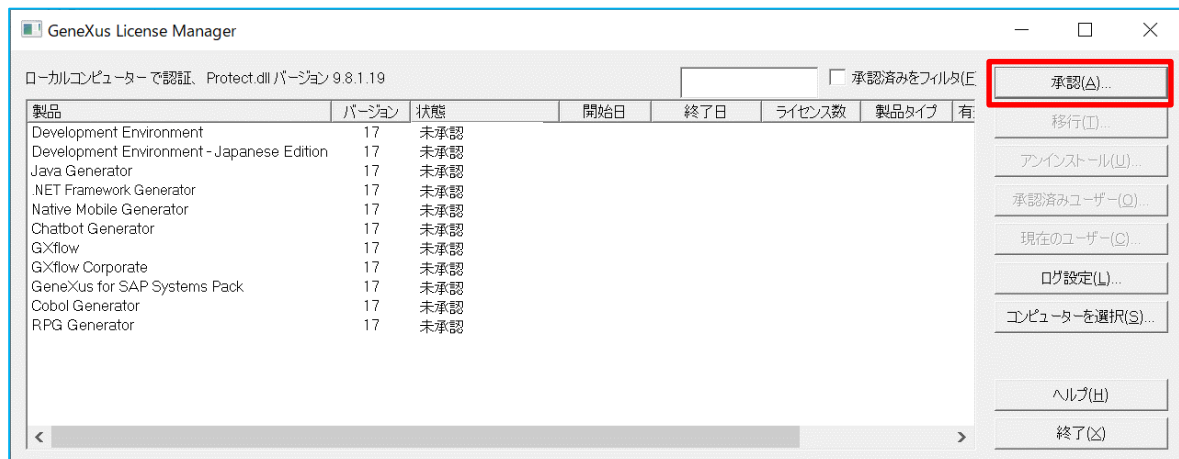
1. GeneXus をインストールした端末で「GeneXus V License Manager」を「管理者として実行」します。

※V は GeneXus のメジャーバージョンです。

例：

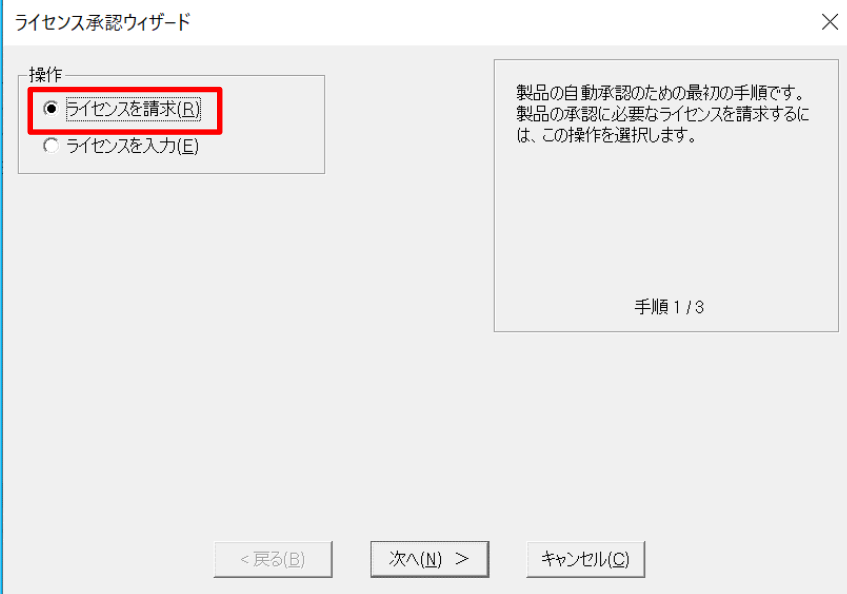


2. 「承認」をクリックします。





3. 「ライセンス請求」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



ライセンス承認ウィザード

操作

☒ ライセンスを請求(B)

☐ ライセンスを入力(E)

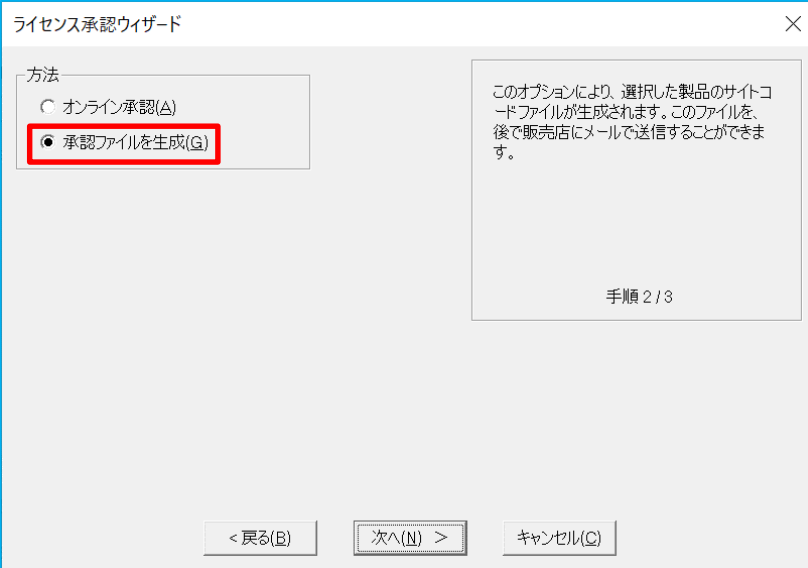
製品の自動承認のための最初の手順です。製品の承認に必要なライセンスを請求するには、この操作を選択します。

手順 1 / 3

< 戻る(B)    次へ(N) >    キャンセル(C)

4. 「承認ファイルを作成」にチェックを入れ、「次へ」をクリック

※「オンライン承認」は承っていないので選択しないでください。



ライセンス承認ウィザード

方法

☐ オンライン承認(A)

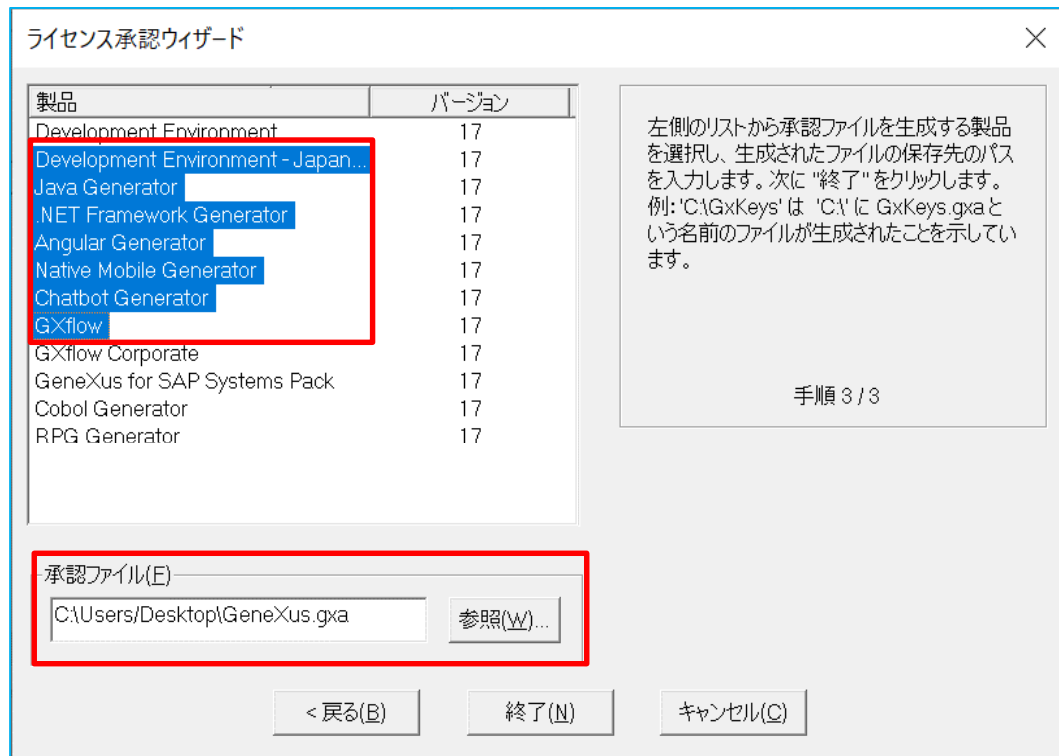
☒ 承認ファイルを作成(G)

このオプションにより、選択した製品のサイトコードファイルが生成されます。このファイルを、後で販売店にメールで送信することができます。

手順 2 / 3

< 戻る(B)    次へ(N) >    キャンセル(C)

5. Ctrl キーを押しながらクリックすることで下図のように請求に必要な製品を全て選択します。



次の製品を選択してください。

※評価の内容によっては不要な製品もありますが、下記すべてを選択してください。

- **Development Environment Japanese Edition**
- **Java Generator**
- **.NET Framework Generator**
- **Angular Generator**
- **Native Mobile Generator**
- **Chatbot Generator**
- **GXflow**

次の製品は選択しないでください。

- GXflow Corporate
- GeneXus for SAP System Pack
- Cobol Generator
- RPG Generator

「承認ファイル(F)」 に請求ファイルの生成場所を指定します。

「終了」をクリックすると請求ファイル（「.gxa」ファイル）が生成されます。

## 4.3 請求ファイルの送付

次の宛先に請求ファイルをご送付ください。

### ◆ 送付先

- ① パートナーを介する評価の場合： パートナーご担当者様までご連絡ください。
- ② ①以外の場合：[keystmaster@genexus.jp](mailto:keystmaster@genexus.jp) までご連絡ください。

※WorkWithPlus for Web を同時に評価する場合は、1 通のメールで両製品の請求ファイルをご送付ください。

### ◆メールの件名と本文

メールの件名：評価ライセンス請求

メール本文：次の内容を日本語でご記入ください。

- 貴社名
- ご担当者名
- お電話番号
- 製品名（例：GeneXus）
- ライセンスの本数
- ライセンスの期間（〇か月）

### ◆ 添付ファイル

次の2つをメールに添付してください。

- ① 請求ファイル（「.gxa」ファイル）
- ② Evaluation Order.xls

当資料に同梱されている資料です。

黄色のセルを英語で埋めてください。

GeneXus Japan のライセンス請求受付日時は次の通りです。

◆土日祝日・年末年始を除く 9時～16時

時間外での請求は翌営業日の対応となります。予めご了承ください。

ライセンスのご提供は、最短で「ライセンス請求受付日の翌営業日」となります。

2～3 営業日を要する場合もございますので、ご了承ください。

## 4.4 ライセンスの取り込み

請求ファイルの送付後、発行されたライセンス（「.gxa」ファイル）はメールで送信されます。請求ファイルを作成した端末のライセンスマネージャー（「GeneXus V License Manager」）で取り込む（承認する）ことでライセンスを有効化することができます。（請求ファイルを作成した端末以外では取り込みません。）

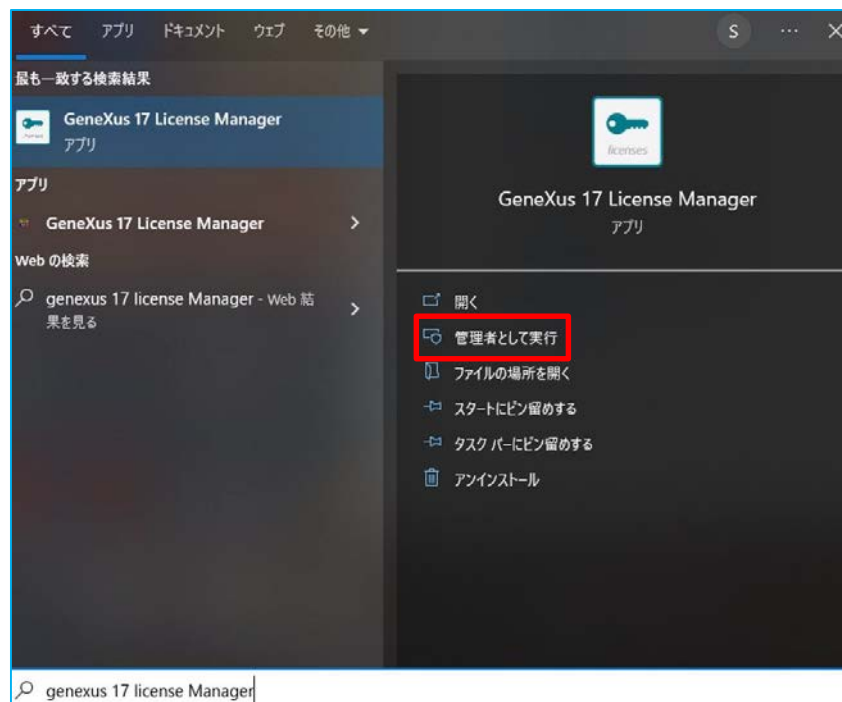
※V は GeneXus のメジャーバージョンです。

ライセンスファイルをダブルクリック（もしくは、ライセンスファイルを右クリック→プログラムから開く→GeneXus V License Manager をクリック）することでライセンスが取り込まれます。

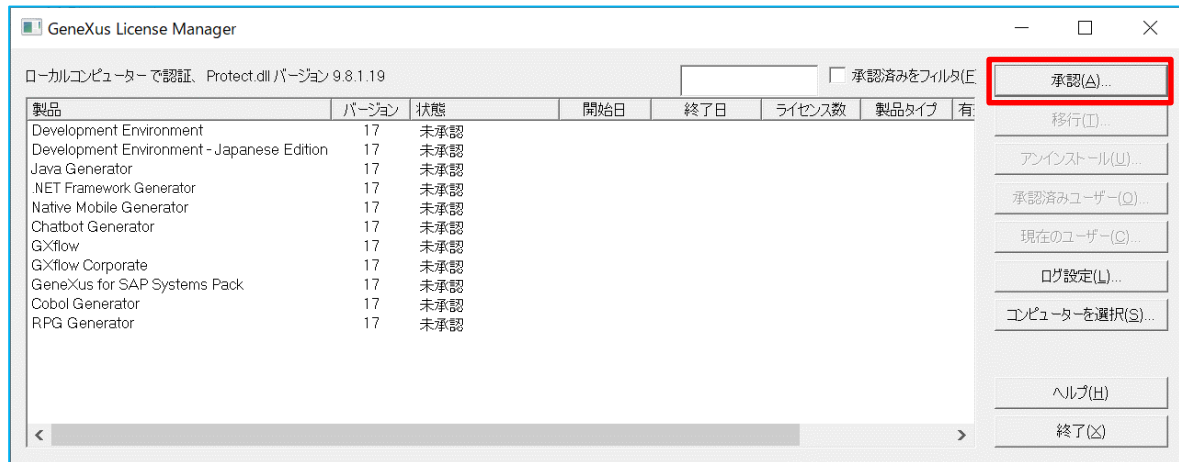
別の取り込み方法としてライセンスマネージャーを操作してライセンス取り込みます。

1. GeneXus をインストールした端末で「GeneXus V License Manager」を「管理者として実行」します。

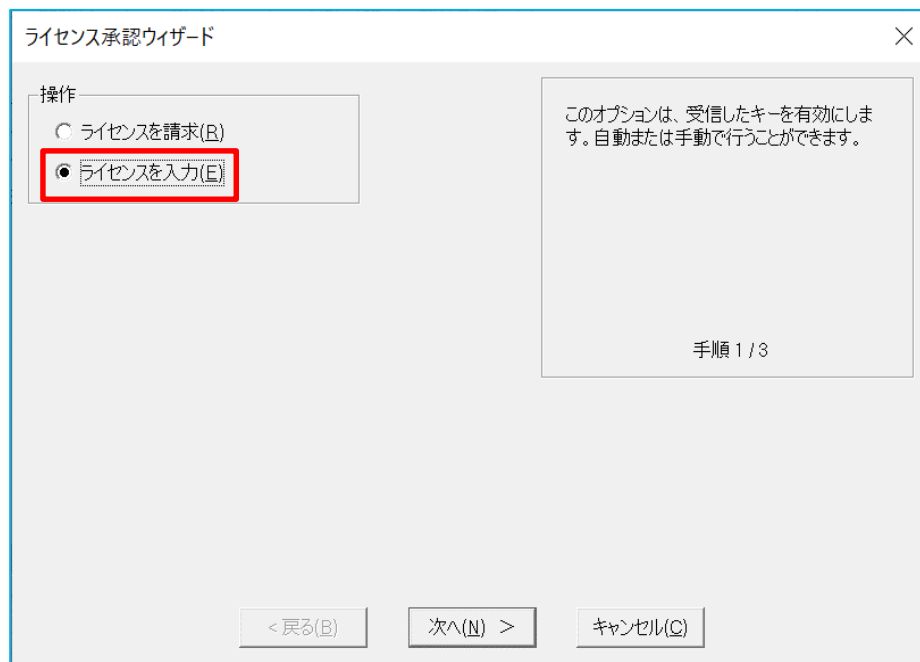
例：



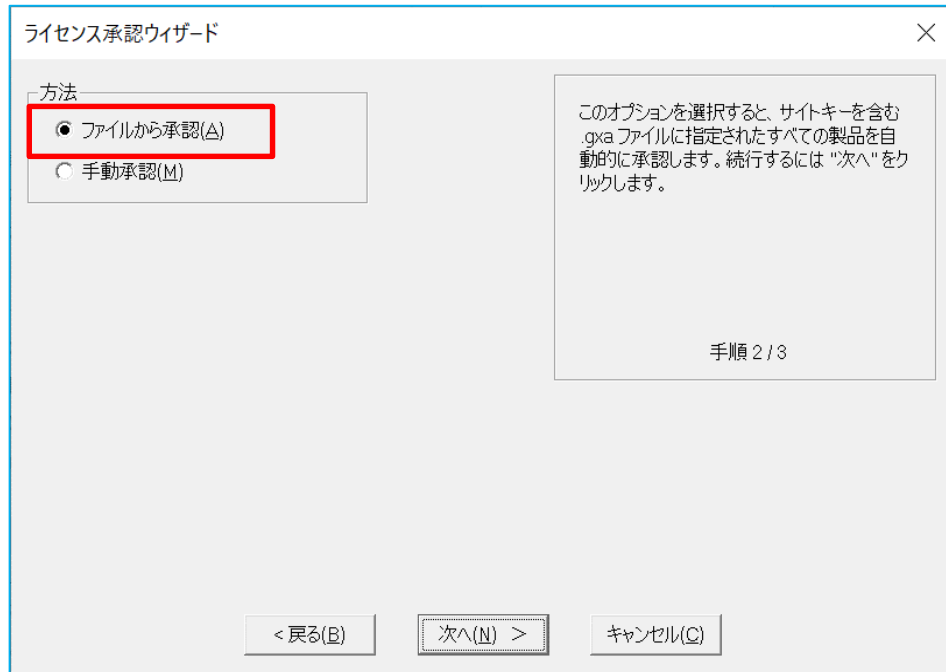
2. 「承認」をクリックします。



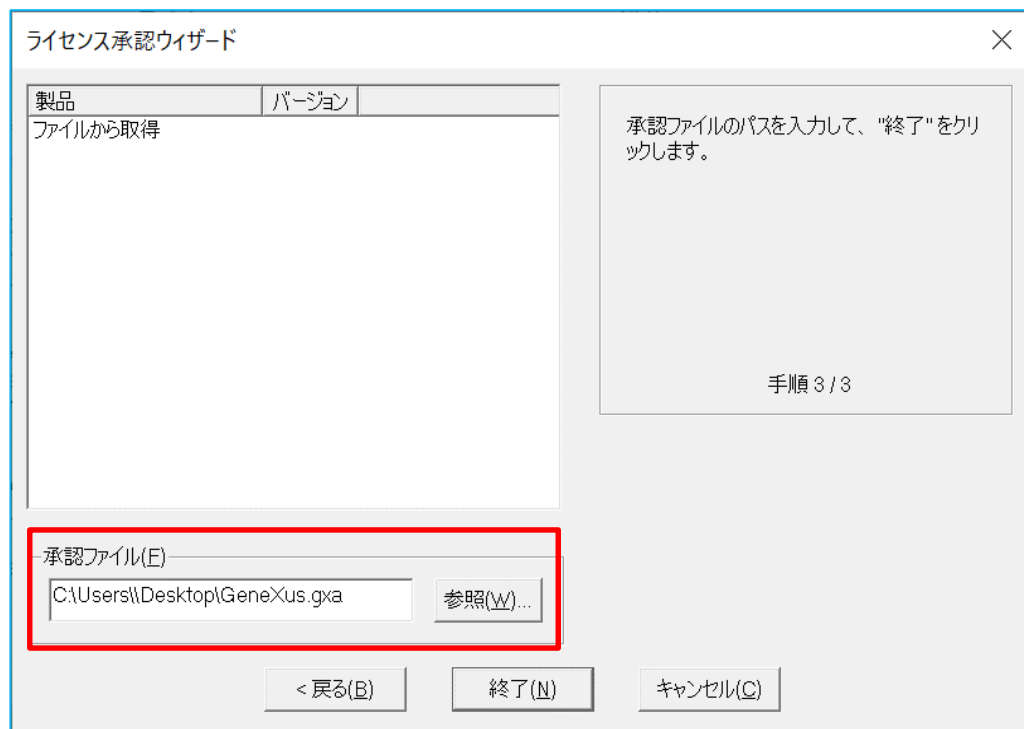
3. 「ライセンスを入力」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



4. 「ファイルから承認」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



5. 「承認ファイル」でライセンスファイルを指定して、「終了」をクリックします。

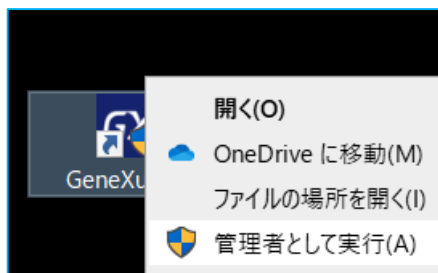


## 5. GeneXus の動作確認

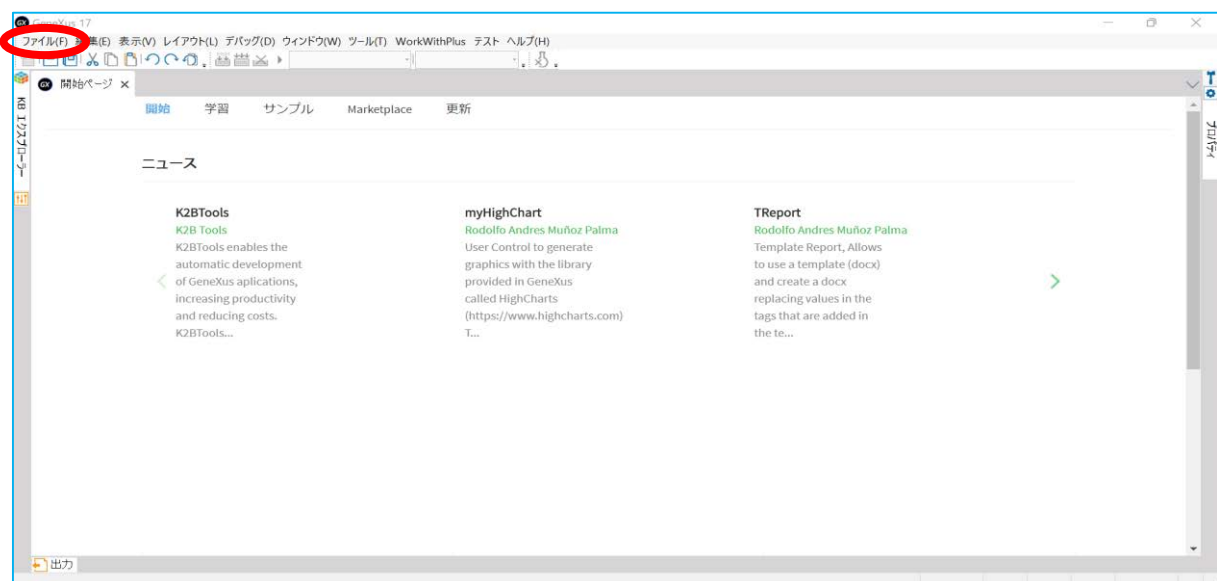
ここでは動作確認のため、生成アプリケーションからデータベースに接続できるまでを確認します

### 5.1 新規ナレッジベースの作成

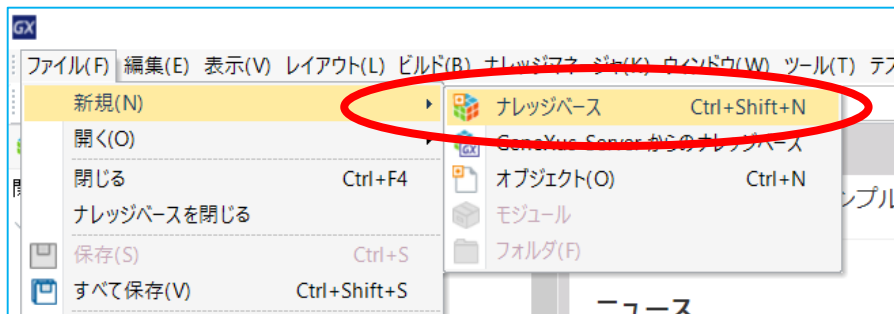
1. デスクトップより GeneXus のショートカットアイコンを右クリックして「管理者として実行(A)」を選択します。（GeneXus インストール時に作成されたショートカットです。）



2. 次のような画面が表示されます。  
画面左上の「ファイル」をクリックします。



3. 下図のように「ナレッジベース」を選択してナレッジベースを新規に作成します。



4. 名前に「KB1」と入力し、プロトタイプ環境に「.NET Framework Environment」または「Java Environment」を選択し、「作成」をクリックします



もし「作成」をクリックした際に「信頼ユーザーは x x x (ユーザー名) サーバー上ではデータベース作成権限を持っていません。」が表示される場合、GeneXus の「ナレッジベースを作成」ダイアログより「詳細(A)」をクリックし、サーバー名を確認してください。「[2.1 MicrosoftR SQL ServerR 2019 のインストール](#)」でインストールしたインスタンス名を指定する必要があります (例 : localhost¥sqlexpress)。

上記のサーバー名の確認の上で、次のうち2つのうちどちらかの対応を検討してください。

1. 次ページを参考にユーザーID、パスワード認証による接続(SQL サーバー接続)を使用して適切なユーザー (例: sa) でログインする。
2. SQL サーバーのマネジメントスタジオより windows の接続ユーザー名に dbcreator 権限を付与する。



■（参考）SQL サーバーへの接続に「SQL サーバー接続」を利用するには

SQL サーバーとの接続方法は、基本的にお使いの環境に合わせて指定いただく必要があります。本マニュアルに沿ってご自身で SQLserver をインストールした場合は、通常 Windows 認証で構成できますので、以下の操作は不要です。SQLserver との接続エラー時の回避方法の一例としてご利用ください。

「作成」ボタンをクリックする前に次の設定を行います。

- ① 「詳細」ボタンをクリックします。（「詳細」ボタンをクリックすると、黄色線で囲んだ部分が表示され、「詳細」ボタンが「標準」ボタン（赤線）に変わります。）
- ② SQL サーバー接続を使用する場合は、緑色枠部分「特定のユーザーID とパスワードを使用」を選択し、下記内容を入力します。  
ユーザーID : dbcreator 権限を持つ User 名（例：「sa」）  
パスワード : 上記ユーザーID に対して設定したパスワード
- ③ 「作成」ボタンをクリックします。

ナレッジベースを作成

ナレッジベースを作成するには、名前を入力し、ディレクトリーと希望のプロトタイプ環境を選択してください。

名前(N): KB1  
ディレクトリー(D): C:\Models  
プロトタイプ環境(P): C# .NET Framework Environment  
言語(L): Japanese

<< 標準(B)

ナレッジベースストレージ

サーバー名(S): localhost\SQLEXPRESS  
データベース名(A): GX\_KB\_KB1  
照合(C): Latin1\_General\_100\_CI\_AS\_SC\_UTF8

○ Windows NT 統合認証を使用(W)  
● 特定のユーザー ID とパスワードを使用(U)  
ユーザー ID (U):  
パスワード(P):  
パスワードを保存(V)  
□ ナレッジベースフォルダにデータファイルを作成(I)

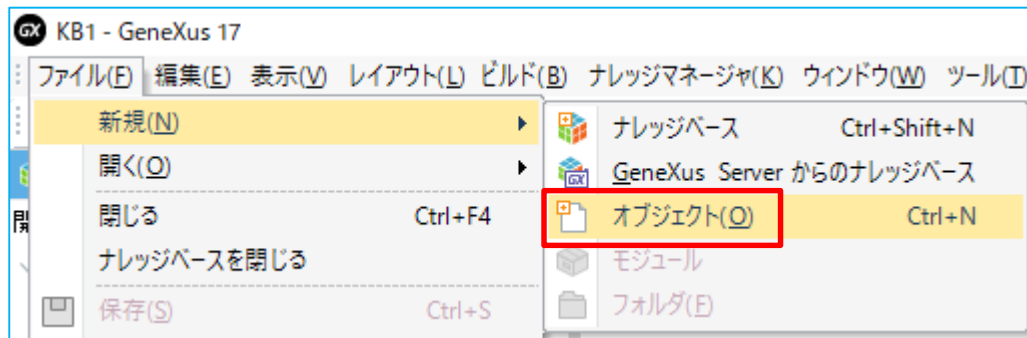
ナレッジベースの作成場所

フォルダ: C:\Models\KB1  
サーバー: localhost\SQLEXPRESS  
データベース: GX\_KB\_KB1

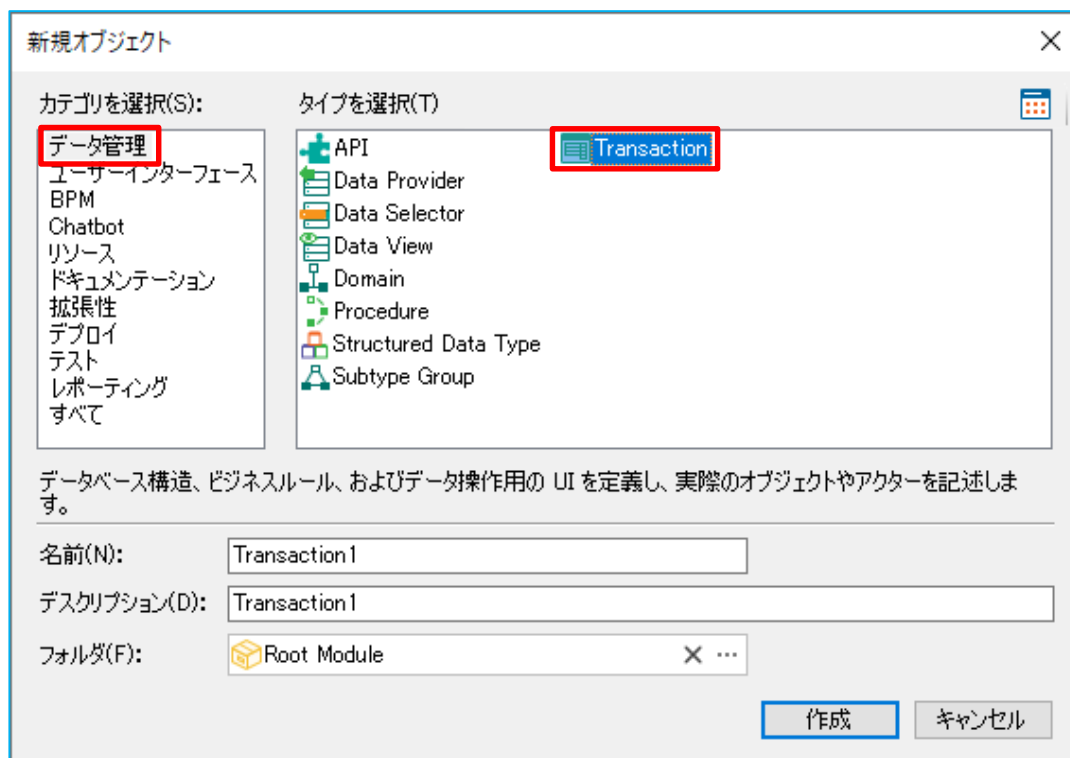
作成 キャンセル

## 5.2 トランザクションオブジェクトの作成

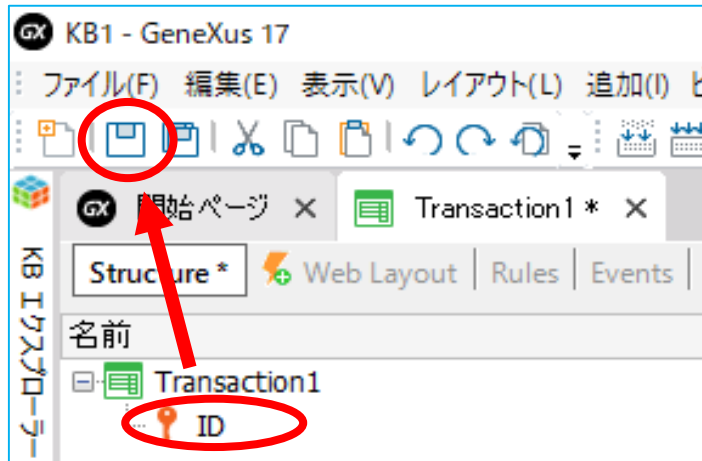
1. 下図のように「オブジェクト」をクリックします。



2. 「データ管理」カテゴリの「Transaction」を選択して、作成ボタンをクリックします。

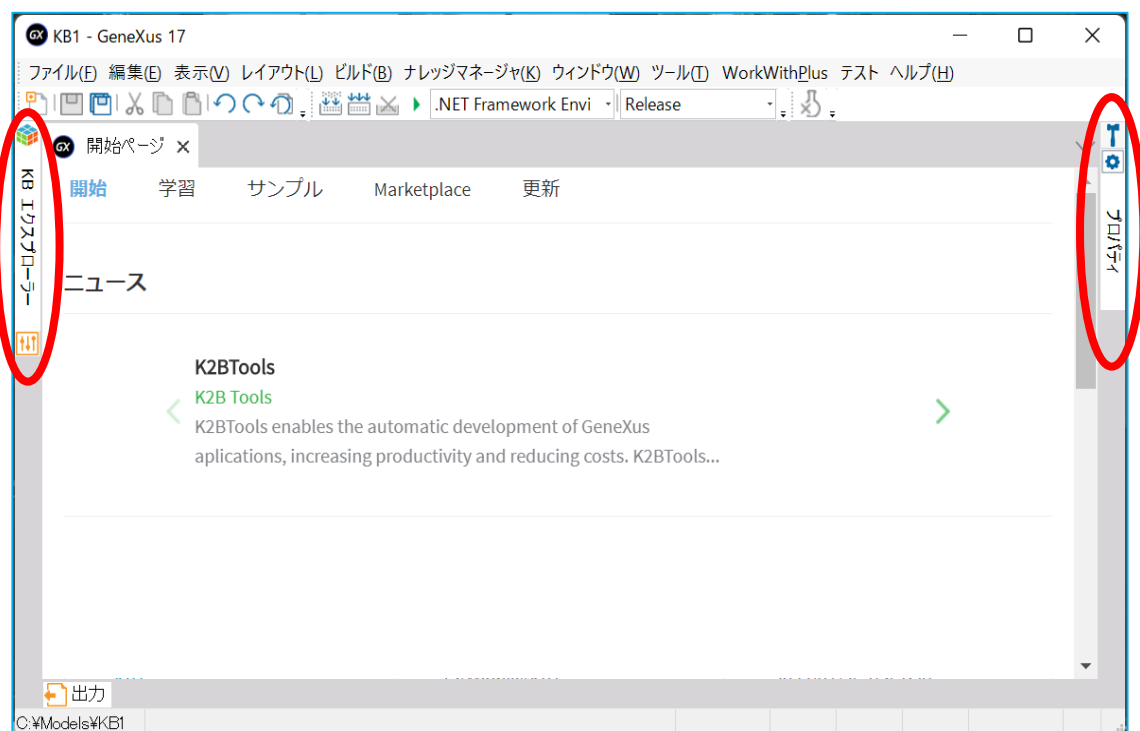


3. 下図のように「ID」と入力し、保存ボタンをクリックします。



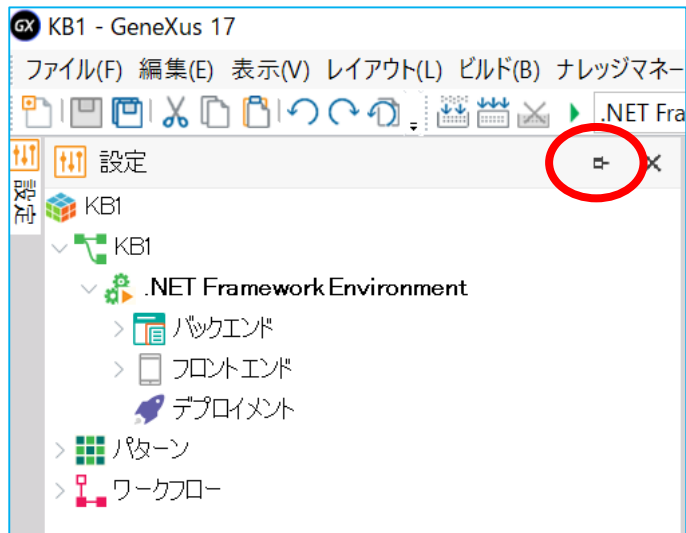
## 5.3 データベースの設定

1. 下図赤枠にマウスオーバーするとウィンドウが表示されます。

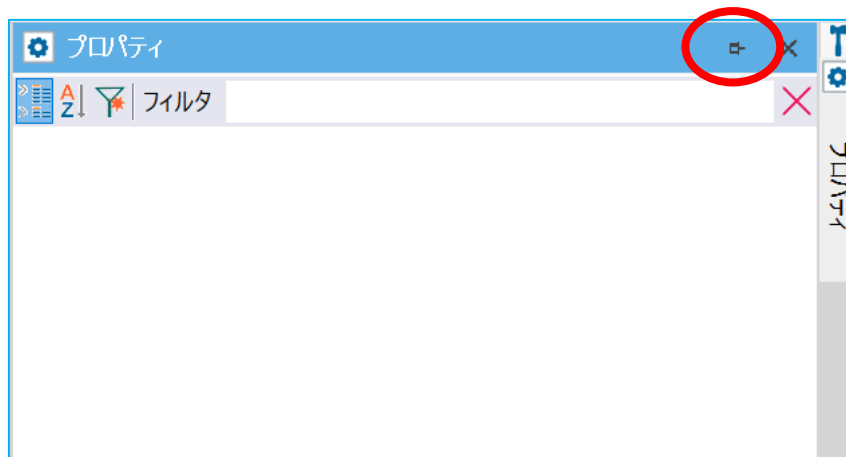


2. 「ピン」アイコンをクリックして、ウィンドウを固定します。

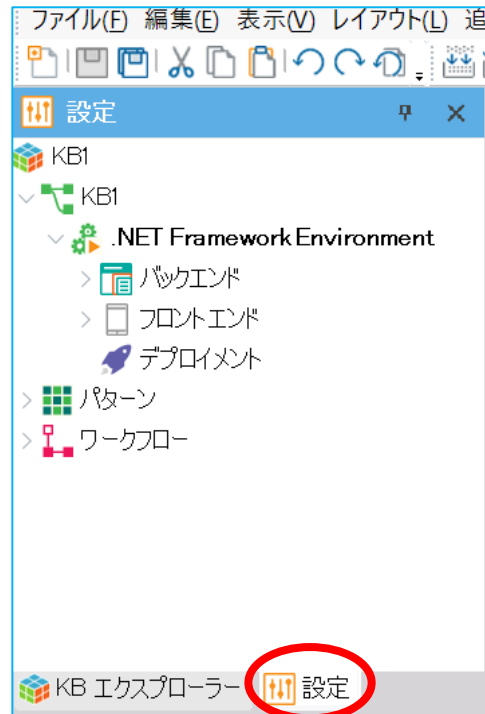
画面左



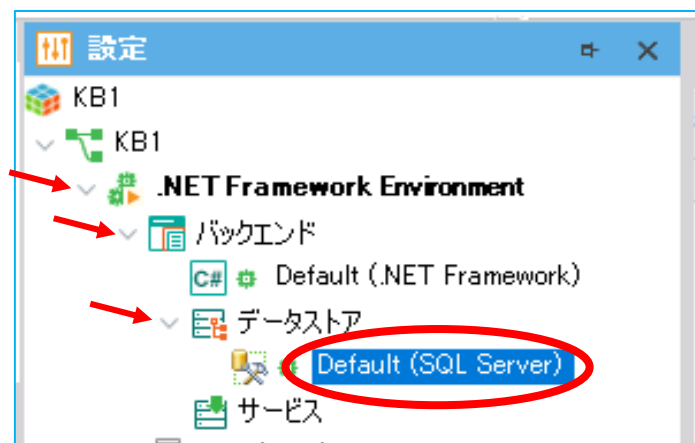
画面右



3. 固定した左ウィンドウの下部にある「設定」をクリックします。



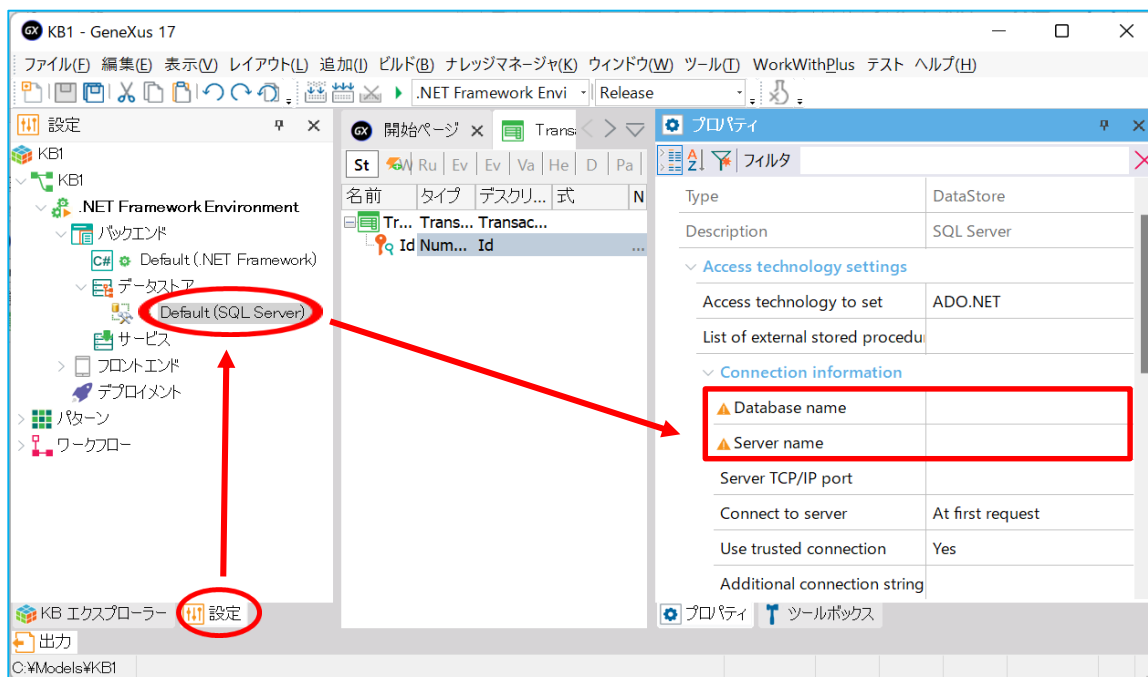
「>」をクリックしノードを開き「Default」を選択して、固定した右ウィンドウに DataStore のプロパティを表示させます。



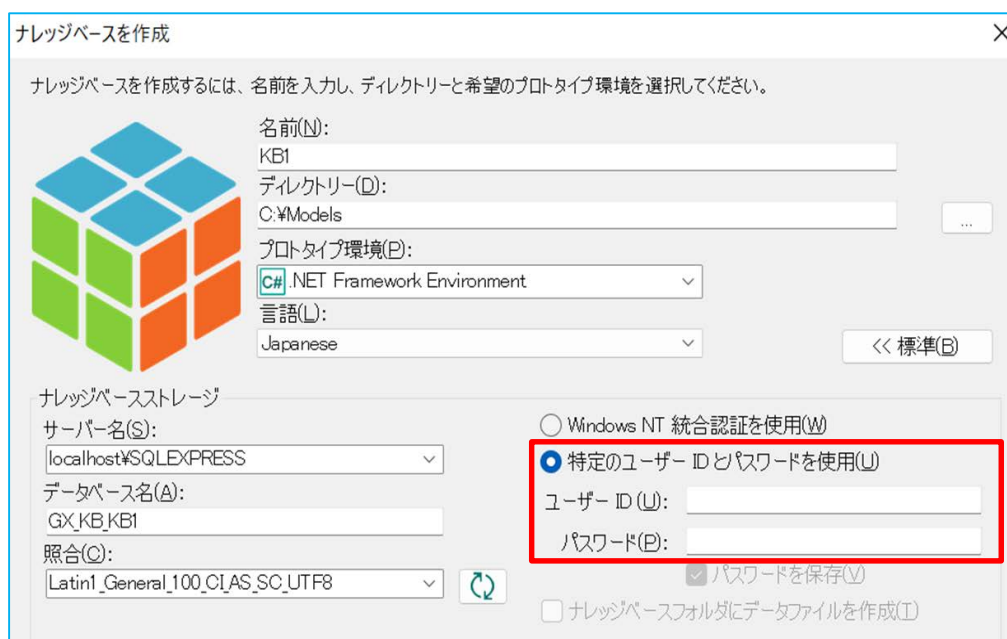
4. 「Database name」と「Server name」に値を入力します。

Database name : 任意のデータベース名 (例 : kb1\_test)

Server name : データベースのサーバー名 (例 : localhost¥SQLEXPRESS)



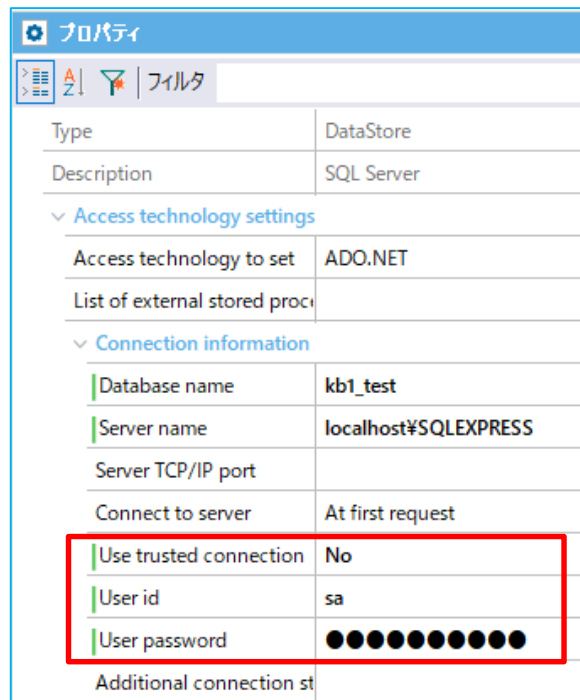
「[5.1 新規ナレッジベースの作成](#)」にて下図赤枠の入力を行った場合、もしくは、この後の「[5.4 ビルドの実行](#)」にて SQLserver との接続による再編成エラーが発生した場合は、次ページの設定を行ってください。



「Use trusted connection」の値を「No」に変更します。

「User id」に dbcreator 権限を持つ User 名（例：「sa」）を入力します。

「User password」に上記ユーザーID に対して設定したパスワードを入力します。



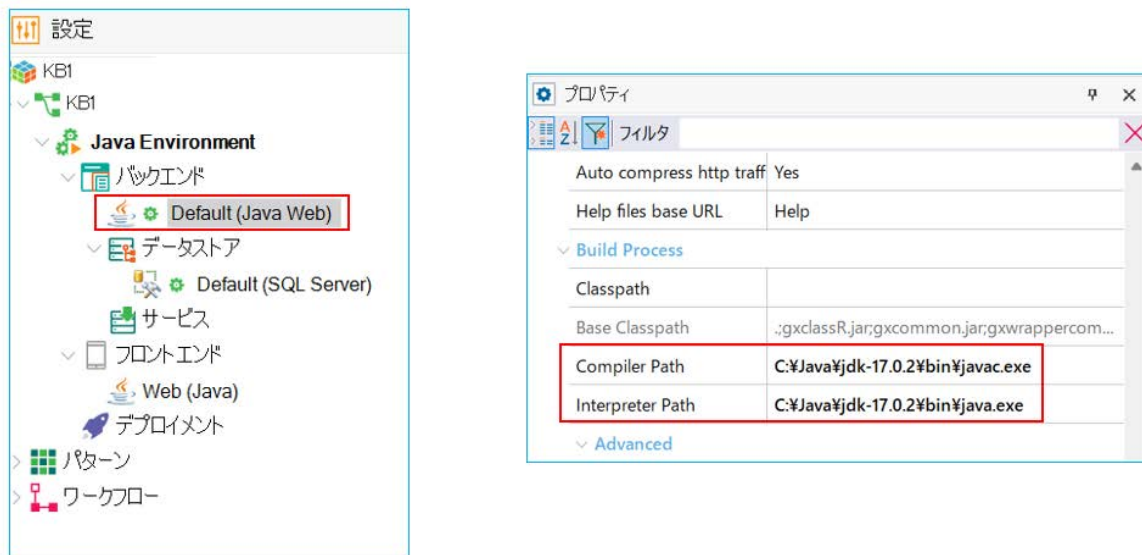
| Type                               | DataStore            |
|------------------------------------|----------------------|
| Description                        | SQL Server           |
| ▼ Access technology settings       |                      |
| Access technology to set           | ADO.NET              |
| List of external stored procedures |                      |
| ▼ Connection information           |                      |
| Database name                      | kb1_test             |
| Server name                        | localhost\SQLEXPRESS |
| Server TCP/IP port                 |                      |
| Connect to server                  | At first request     |
| Use trusted connection             | No                   |
| User id                            | sa                   |
| User password                      | ●●●●●●●●●●           |
| Additional connection string       |                      |

## 5.4 ビルドの実行

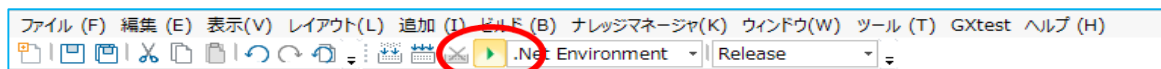
Java の場合、左の画面で「Default」をクリックして表示される右の画面で次の値を入力します。

Compiler Path : javac.exe のパス

Interpreter Path : java.exe のパス



1. 次のボタンをクリックしてビルドを実行します。



2. 「作成」をクリックして DB の作成を指示します。

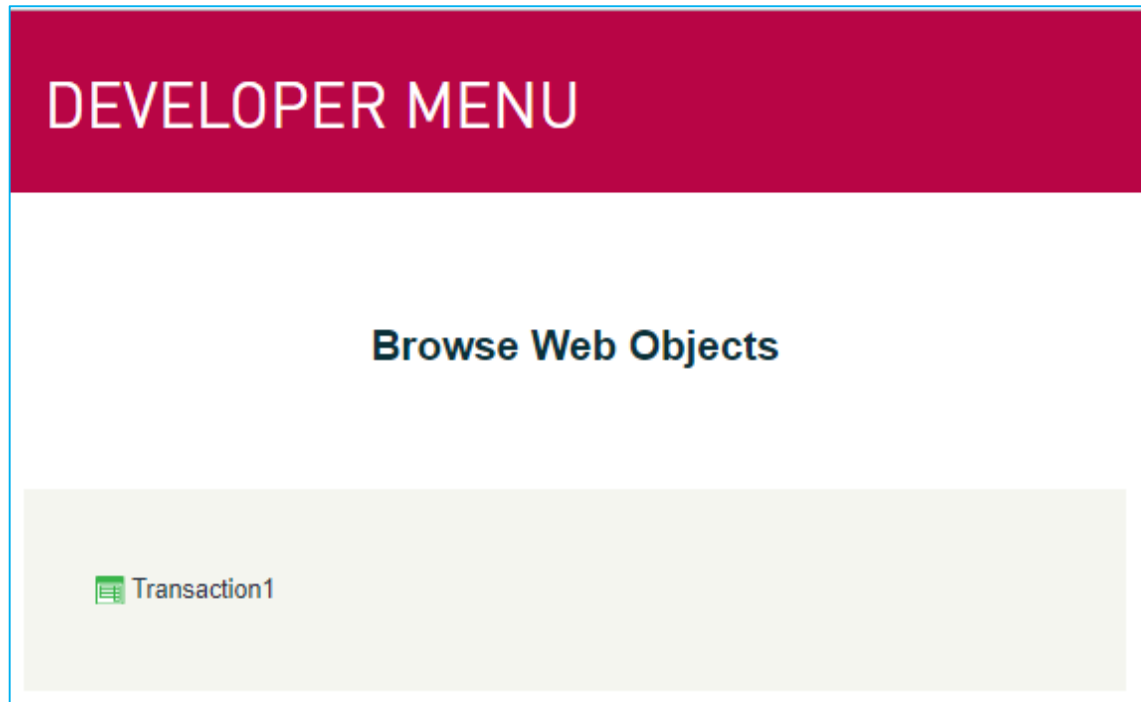




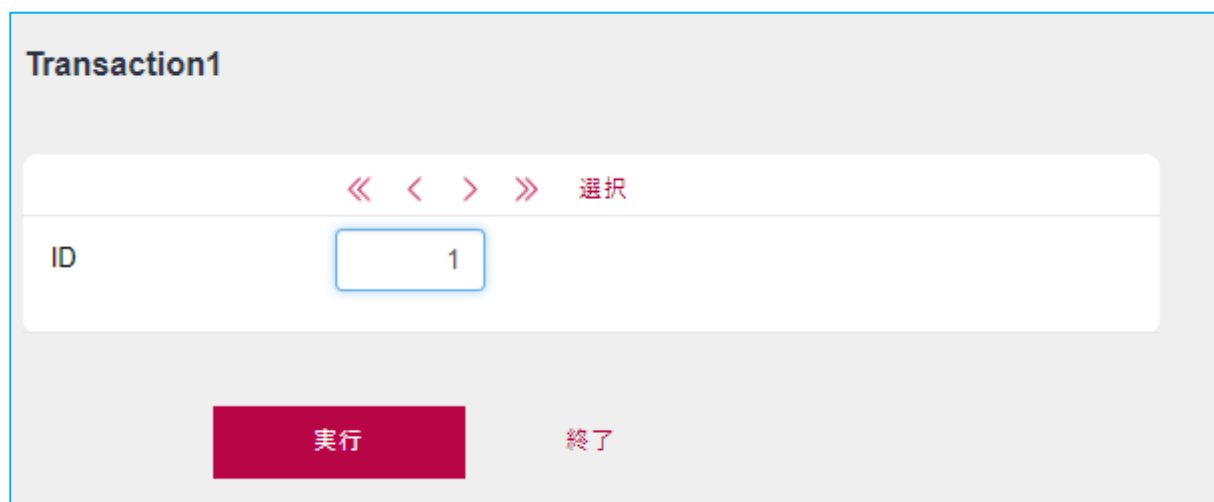
## 5.5 実行画面の確認

1. ビルドが成功するとブラウザが起動して次のような画面が表示されます。

「Transaction1」をクリックします。



2. ID に 1 を入力し、実行ボタンをクリックします。

A screenshot of a web form titled 'Transaction1'. The form has a light gray background. At the top, there is a white input field with the text 'ID' on the left and a blue-bordered box containing the number '1' on the right. Above the input field are four red navigation arrows (double left, single left, single right, double right) followed by the text '選択'. Below the input field, there are two buttons: a red button with the text '実行' (Execute) and a gray button with the text '終了' (End).

3. 下図のように「・データが追加されました。」が表示されたら、環境の確認は終了です。

The screenshot shows a window titled "Transaction1". At the top, there is a yellow message box with the text "・データが追加されました。". Below this, there is a table with a header row containing navigation icons (double left arrow, left arrow, right arrow, double right arrow) and the text "選択". The table has one data row with the label "ID" and a text input field containing the letter "C". At the bottom of the window, there are two buttons: a red button labeled "実行" (Execute) and a red button labeled "終了" (End).

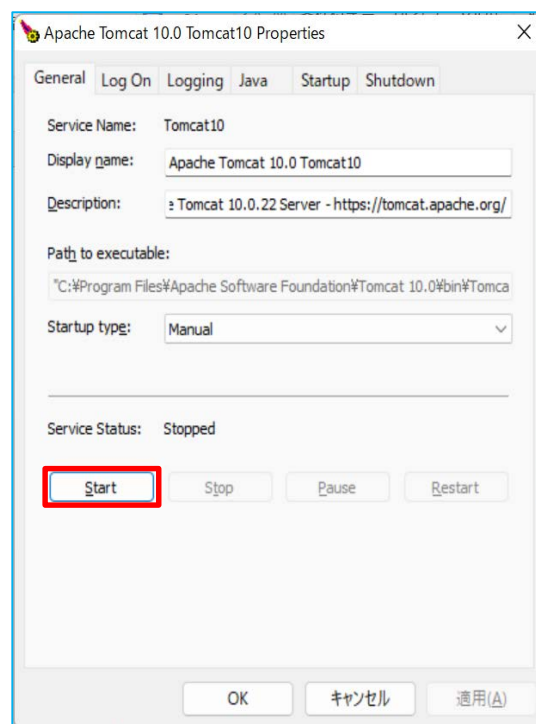
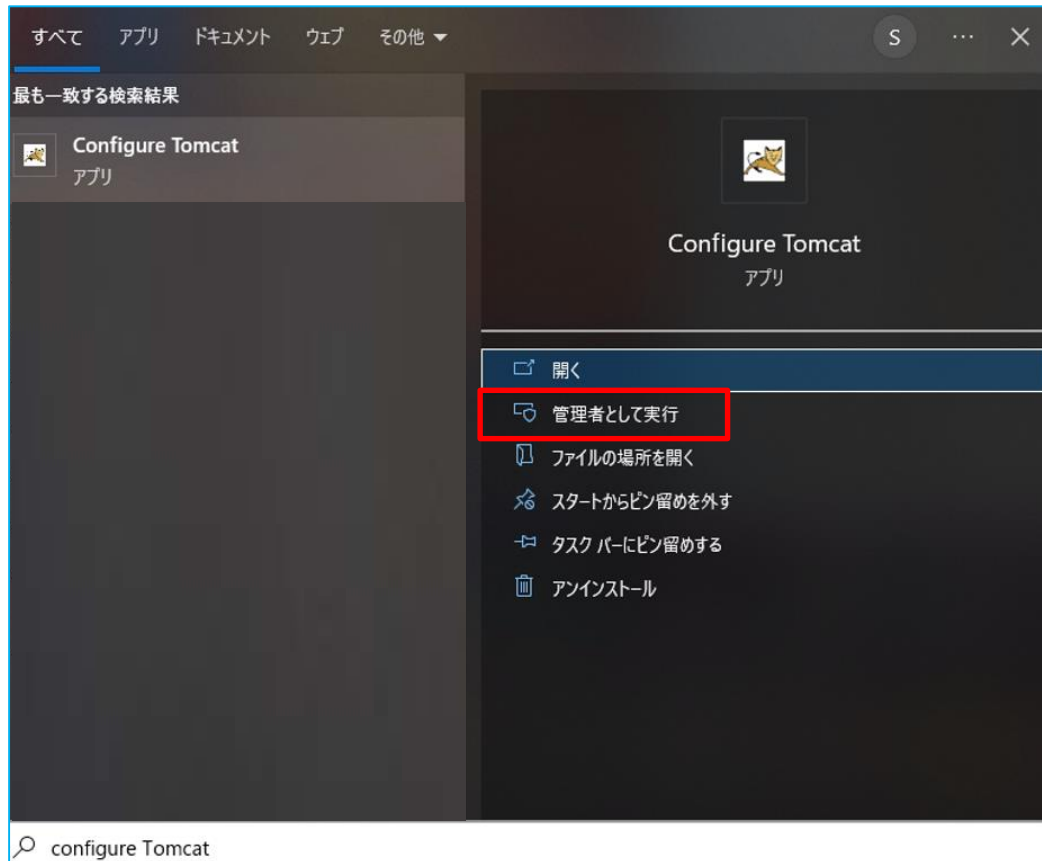
もし、「このログインで要求されたデータベース "<データベース名>" を開けません。ログインに失敗しました。」のようなエラーが発生した場合、下記 URL をご参照いただき、ご対応の上、再確認をお願いいたします。  
<https://www.gxsupport.jp/gxfaq/faqdisplay.aspx?3683>

Java の場合、次のエラーが表示された場合、Tomcat が起動していないか確認してください。

- ・このサイトにアクセスできません localhost で接続が拒否されました。

次ページに続く

Tomcat 起動例：



## 6. GeneXus ご評価者向けトレーニング動画

GeneXus ご評価者向けトレーニング動画は以下 URL にて公開しております。

<https://www.youtube.com/watch?v=mT1ne7o165c>

動画は GeneXus で開発を実施していただく上で必要となる基礎を学習していただける内容です。

この動画については弊社トレーニングコースとして提供している e ラーニングより抜粋したものととなります。

動画内で使用している教材は下記よりダウンロードいただけます。

[https://www.genexus.jp/wp-content/themes/genexus/images/document/GX17\\_BasicCourseMaterial.zip](https://www.genexus.jp/wp-content/themes/genexus/images/document/GX17_BasicCourseMaterial.zip)

## 7. GeneXus ファーストステップのご案内

トレーニング動画で説明した内容と重複する部分はございますが、実際の操作経験を目的としたステップ・バイ・ステップのトレーニング資料が次の Web ページからダウンロードいただけます。

<https://www.genexus.jp/community-and-support-jp/downloads02>

ドキュメント → Other → 教育 / e ラーニング / 資格試験 → GeneXus ファーストステップ

# Other

その他の資料

**教育 / eラーニング / 資格試験**▲

|                                      |            |
|--------------------------------------|------------|
| <a href="#">インストラクター試験受験者向けご参考資料</a> | 2021/7/7   |
| <a href="#">受講者端末準備のご案内</a>          | 2022/7/1   |
| <a href="#">受講システム使用手順書</a>          | 2018/12/26 |
| <a href="#">GeneXus ファーストステップ</a>    | 2022/7/28  |

## 8. WorkWithPlus for Web の環境構築

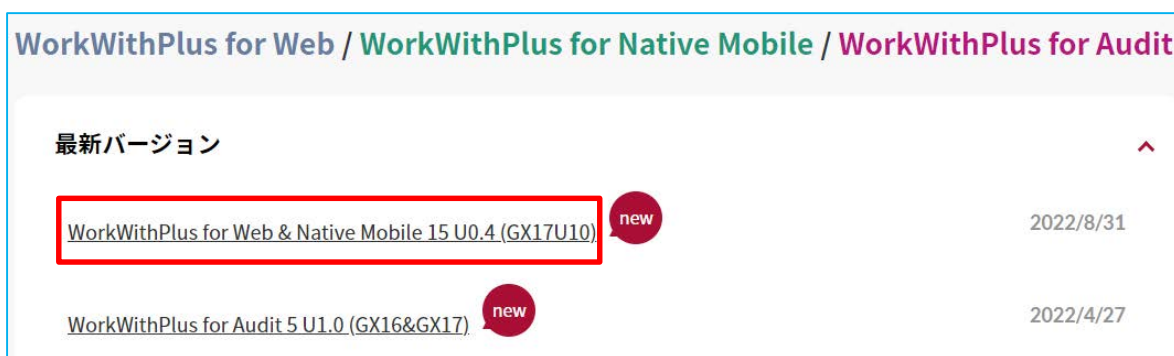
WorkWithPlus for Web の環境構築手順を説明します。動作確認済みの GeneXus に WorkWithPlus for Web をインストールし、WorkWithPlus for Web のライセンスを請求します。

### 8.1 WorkWithPlus for Web のインストール

1. 次の Web ページから「最新」の WorkWithPlus for Web & Native Mobile をダウンロードします。

<https://www.genexus.jp/community-and-support-jp/downloads02>

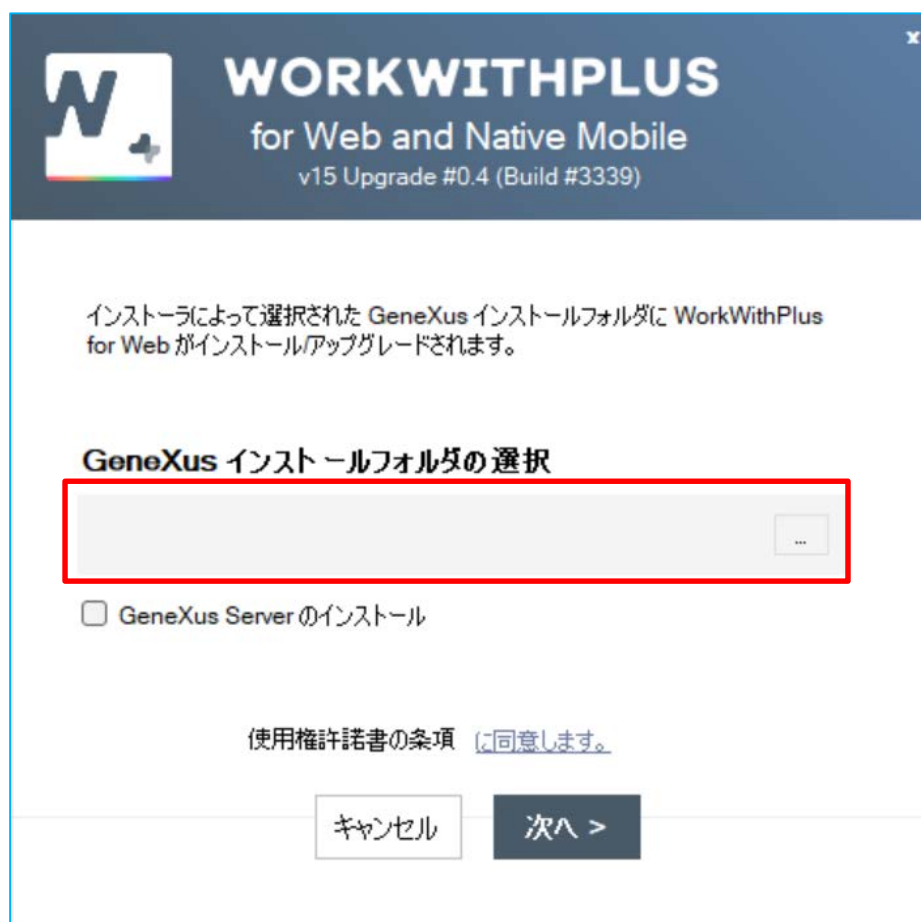
最新バージョン配下にある「WorkWithPlus for Web & Native Mobile～」をクリックしてダウンロードします。（下図では例として「WorkWithPlus for Web & Native Mobile 15 U0.4」が最新バージョン）



※WorkWithPlus for Web と WorkWithPlus for Native Mobile は異なる製品ですが、インストーラーが 1 つに統合されています。そのため、WorkWithPlus for Web をインストールすると WorkWithPlus for Native Mobile もインストールされますが、WorkWithPlus for Web の使用に影響はありません。

2. ダウンロードした zip ファイルを解凍して、フォルダの中にある「WWP\_Web\_NM\_~.exe」を「管理者として実行」します。

3. 下図赤枠に GeneXus インストールフォルダ（例：C:\Program Files (x86)\GeneXus\GeneXus17JP）を入力して「次へ」をクリックします。



4. 次の画面が表示されればインストールは完了です。赤枠のチェックを外して「完了」をクリックします。



## 8.2 ライセンス請求ファイルの作成

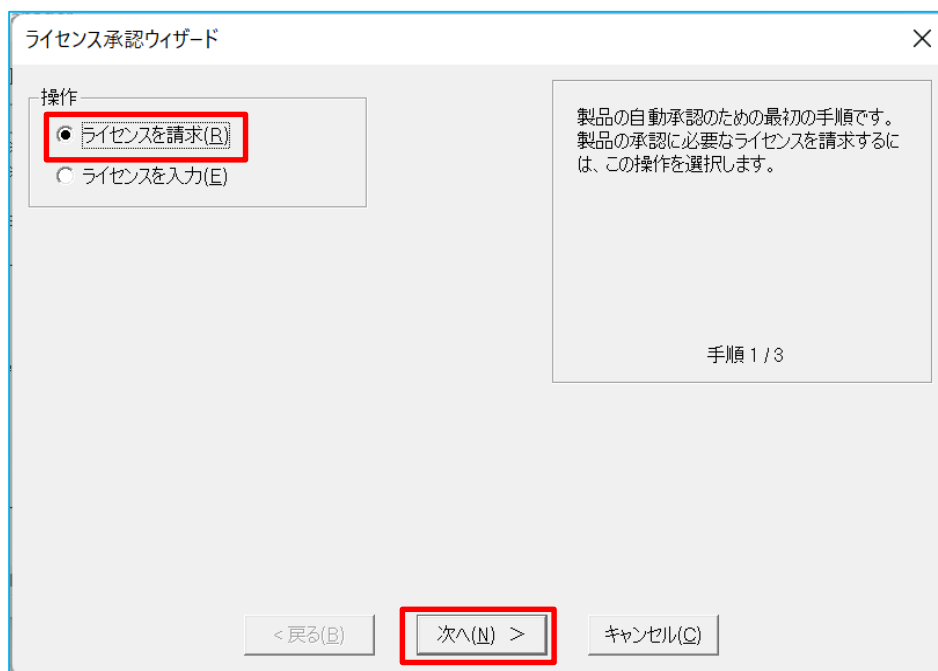
GeneXus のライセンスマネージャーを開き、製品一覧から「WorkWithPlus for Web」を選択し、「承認」ボタンをクリックします。

※「WorkWithPlus for **Native Mobile**」や「WorkWithPlus for Web **Trial**」は選択しないでください。

※GeneXus を同時に評価する場合は、GeneXus と WorkWithPlus for Web は個別に請求ファイルを作成してください。



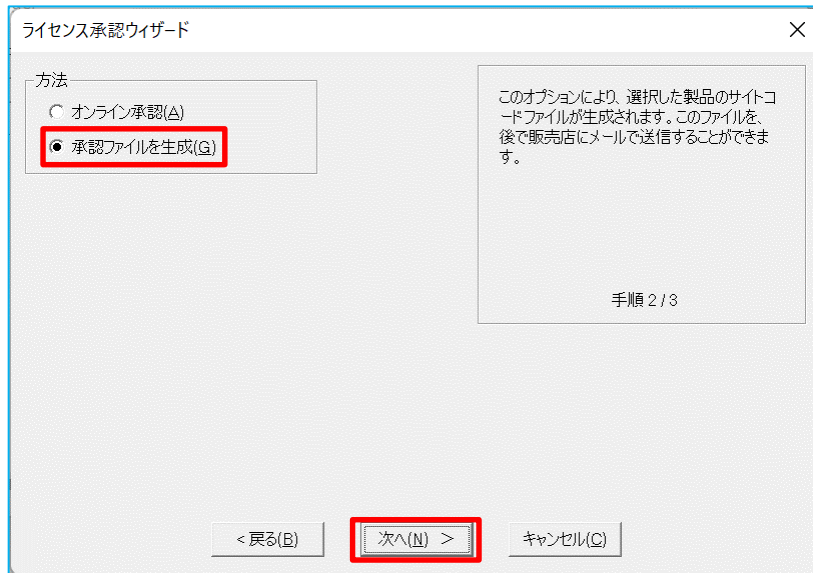
「ライセンス請求」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



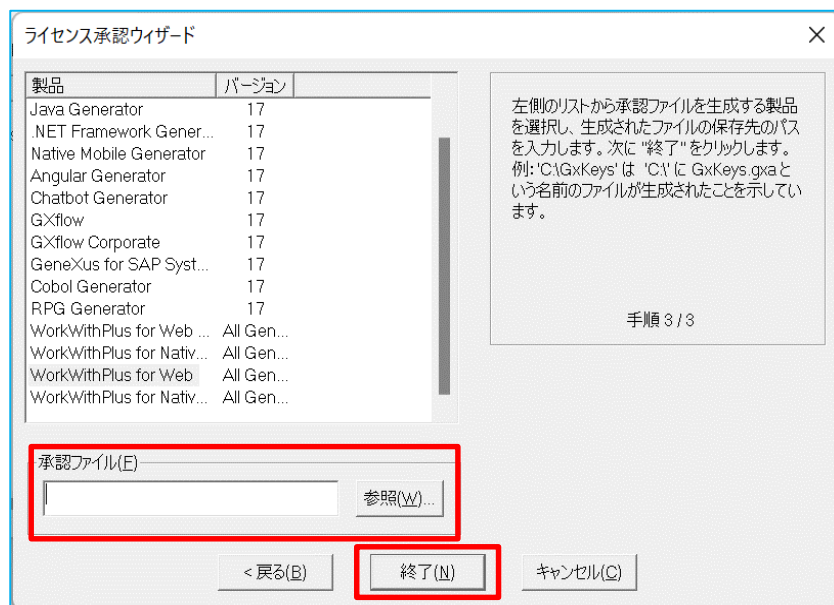


「承認ファイルを生成」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。

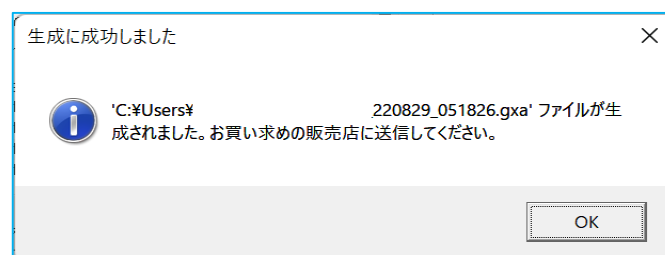
※「オンライン承認」は承っていないので選択しないでください。



「承認ファイル」フィールドにファイルの生成場所を指定し、「終了」をクリックします。



次の画面が表示されれば、請求ファイルの作成は完了です。



## 8.3 請求ファイルの送付

次の宛先に請求ファイルをご送付ください。

### ◆ 送付先

- ① パートナーを介する評価の場合： パートナーご担当者様までご連絡ください。
- ② ①以外の場合：[keystmaster@genexus.jp](mailto:keystmaster@genexus.jp) までご連絡ください。

### ◆メールの件名と本文

メールの件名：評価ライセンス請求

メール本文：次の内容を日本語でご記入ください。

- 貴社名
- ご担当者名
- お電話番号
- 製品名（例： WorkWithPlus for Web）
- ライセンスの本数
- ライセンスの期間（〇か月）

### ◆ 添付ファイル

次の2つをメールに添付してください。

- ① 請求ファイル（「.gxa」ファイル）
- ② Evaluation Order.xls

当資料に同梱されている資料です。

黄色のセルを英語で埋めてください。

※GeneXus で Evaluation Order を提出している場合は、新たに提出する必要はございません。

GeneXus Japan のライセンス請求受付日時は次の通りです。

### ◆土日祝日・年末年始を除く 9時～16時

時間外での請求は翌営業日の対応となります。予めご了承ください。

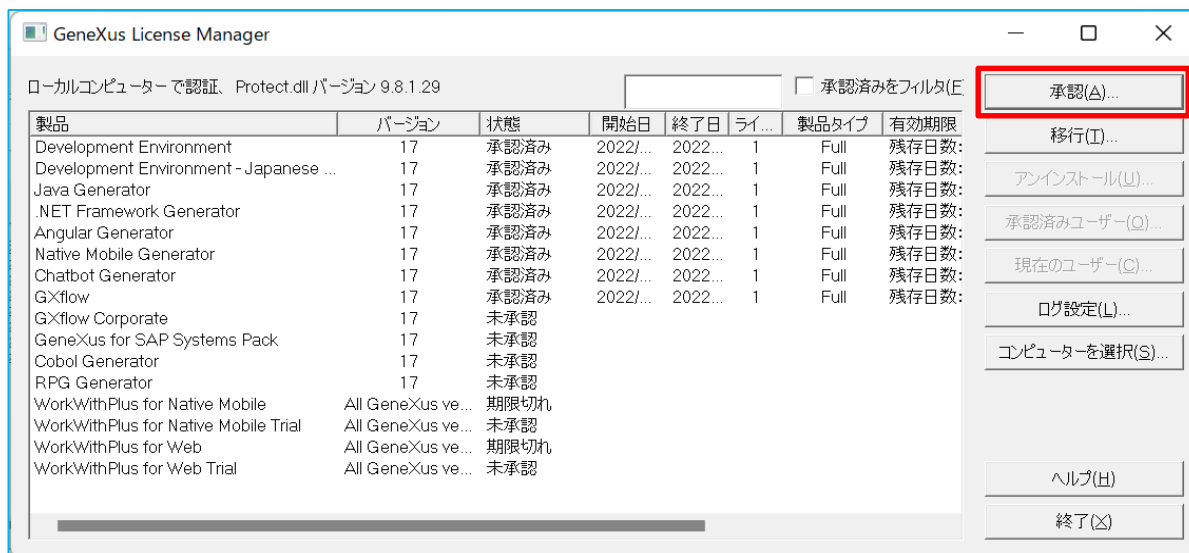
ライセンスのご提供は、最短で「ライセンス請求受付日の翌営業日」となります。

2～3 営業日を要する場合もございますので、ご了承ください。

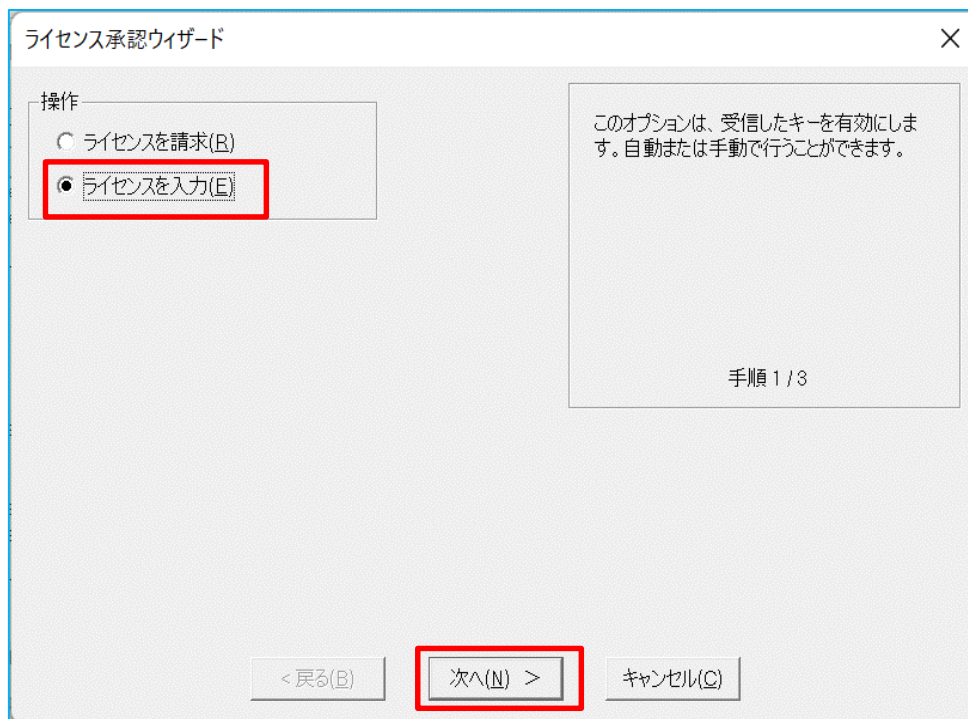
## 8.4 ライセンスの取り込み

請求ファイルの送付後、発行されたライセンス（「.gxa」ファイル）はメールで送信されます。

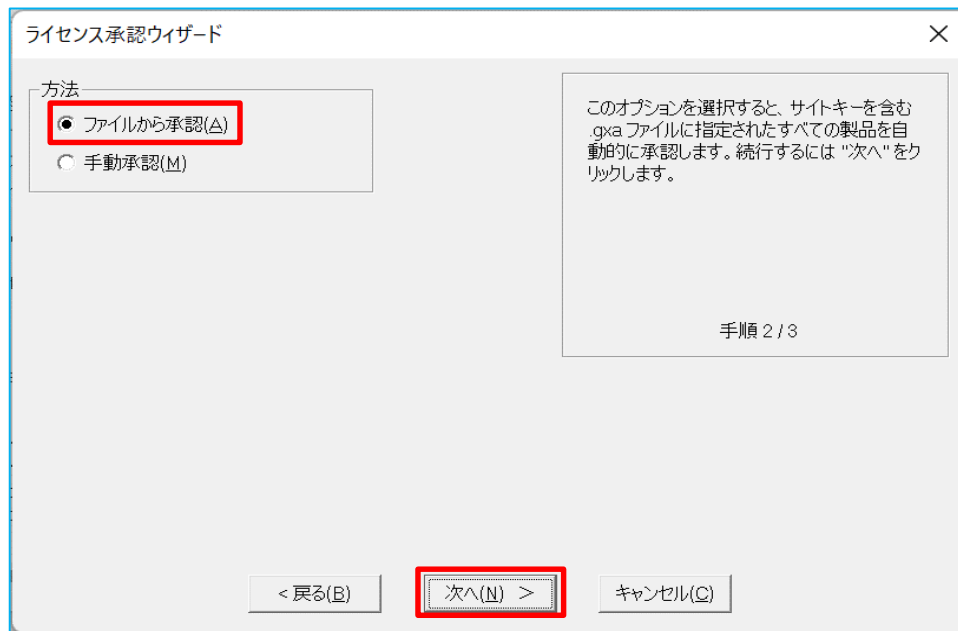
GeneXus のライセンスマネージャーを開き、「承認」をクリックします。



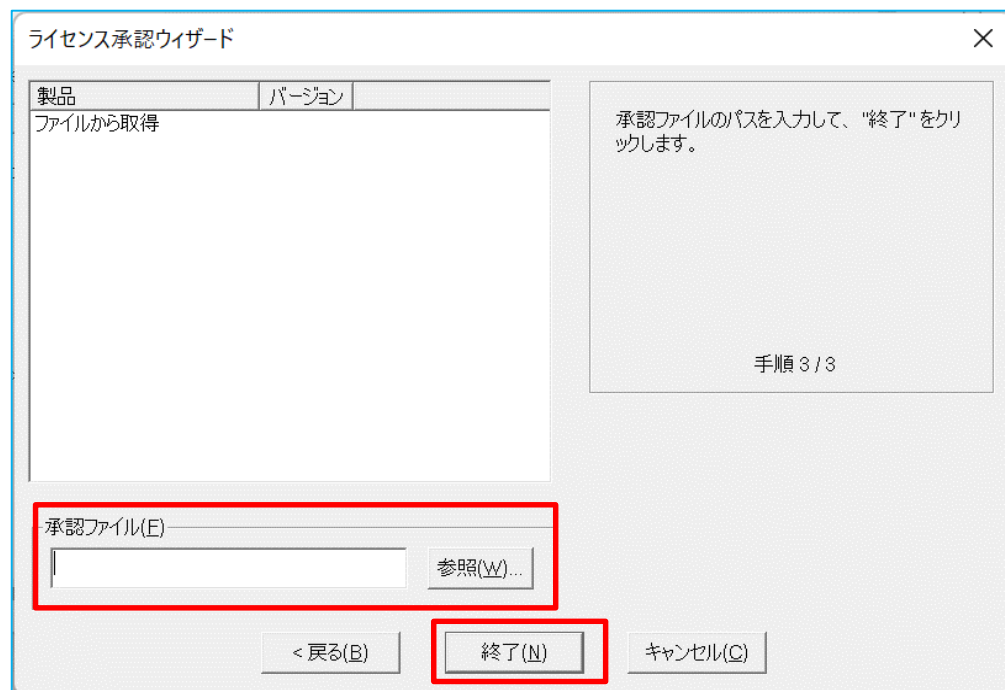
「ライセンスを入力」にチェックを例、「次へ」をクリックします。



「ファイルから承認」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



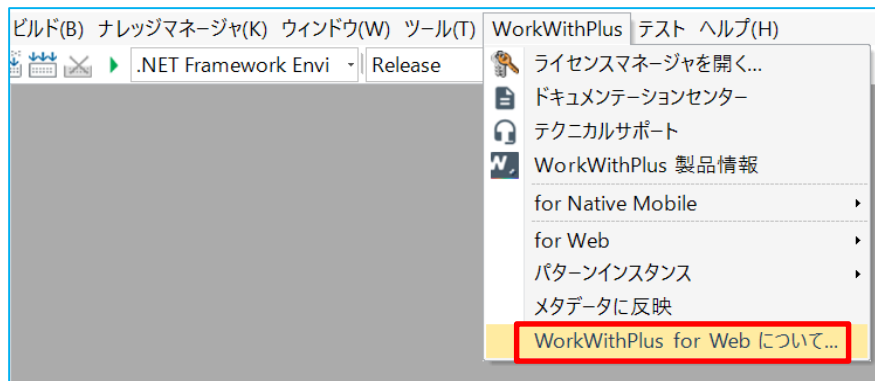
発行されたライセンス（「.gxa」ファイル）を「承認ファイル」フィールドで指定し、「終了」をクリックします。



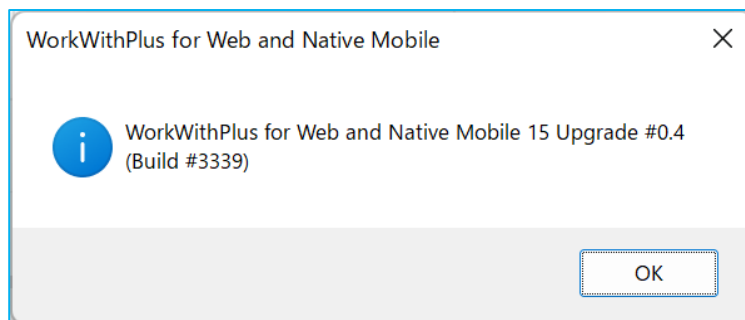
## 8.5 動作確認

GeneXus を開き、新規にナレッジベースを作成します。

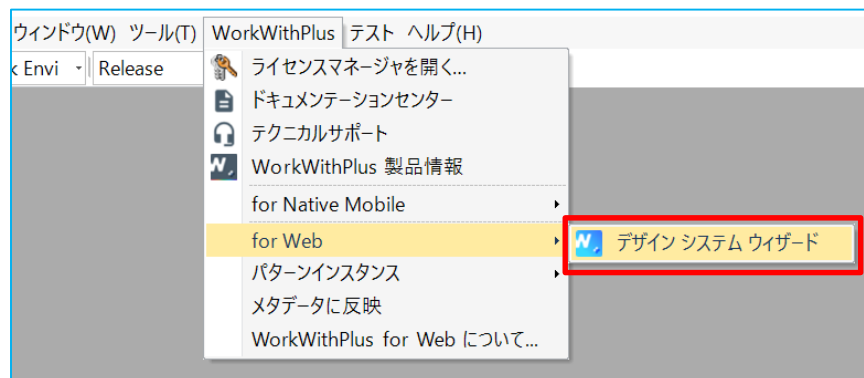
下図のように「WorkWithPlus for Web について」をクリックします。



次の画面でインストールした WorkWithPlus for Web and Native Mobile のバージョンが確認できます。



下図のように「デザイン システム ウィザード」を選択します。



表示される選択肢のうち「Nagara」を選択します。

デザインシステムをインポート

ベースのデザインシステムを選択

The screenshot displays the WorkWithPlus dashboard interface. At the top, there's a blue header with the text 'デザインシステムをインポート' and 'ベースのデザインシステムを選択'. Below this, the dashboard shows a sidebar menu on the left with options like 'Home', 'Dashboards', 'Modules', 'Lists & Features', and 'List Features'. The main content area includes a 'Home' section with four KPI cards: '352 Sales' (20%), '\$ 75,520 Revenue' (30%), '+560 Users' (40%), and '2,540 Views' (60%). Below these are two charts: 'Orders' (a donut chart) and 'Task Board' (a line chart). At the bottom, there's a 'Sales Table' and a 'Notifications' section. The 'Nagara' option is highlighted in the sidebar menu.

WORKWITHPLUS

Home

Home Pages > Dashboards > Home

Administrator User

Search menu option...

HOME PAGES

Dashboards

Home

Single Cards Icons

Main Card with KPIs

Cards Circle Progress

Main Card with Progress Circle

Icon Cards

Colored Cards

Modules

Lists & Features

Lists

List Features

352 Sales 20%

\$ 75,520 Revenue 30%

+560 Users 40%

2,540 Views 60%

Orders

Task Board

Sales Table

**Nagara**

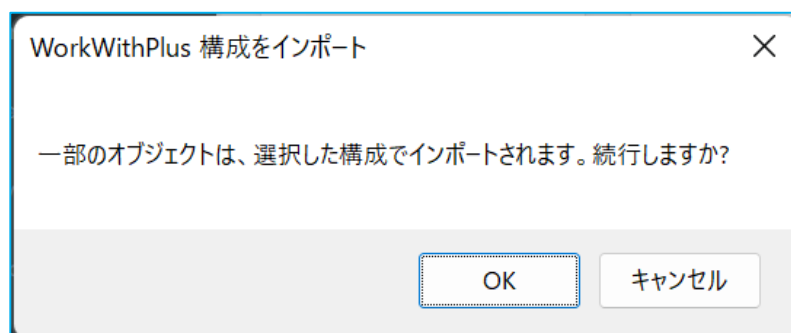
Notifications

You have 8 new notifications

「GAM セキュリティを含める」のチェックを外し、「デザインシステムをインポート」をクリックします。

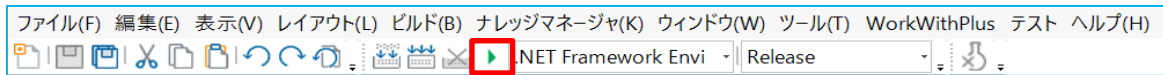


次の画面で「OK」をクリックします。



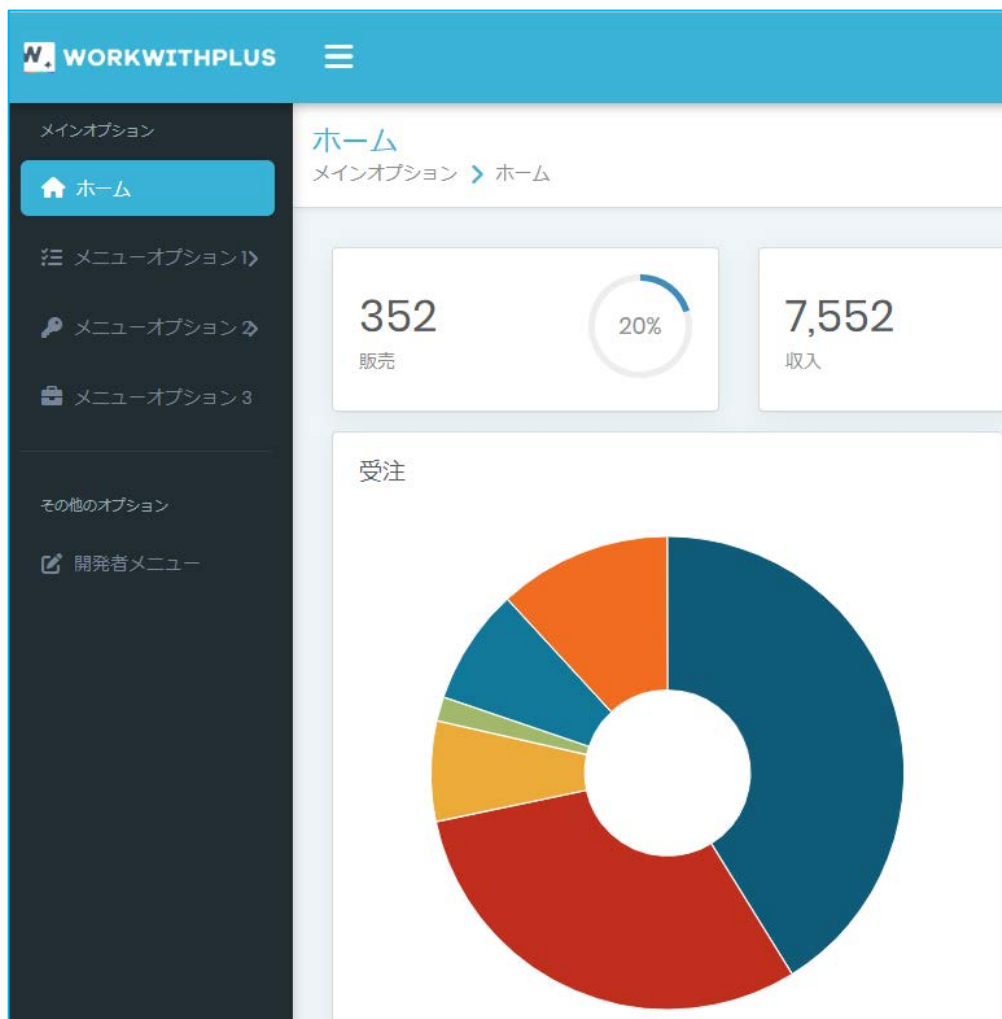
構成のインポートが開始されるので、完了を待ちます。

インポートが完了したらアプリケーションを実行します。



下図のようにアプリケーション画面が表示されましたら確認は完了です。

(画面サイズによって表示デザインが異なる場合があります。)





## 8.6 参考資料

- WorkWithPlus for Web HELP

<http://www.genexus.jp/help/index.htm?Page=Start-up.html>

- WorkWithPlus for Web トレーニング教材

<https://www.genexus.jp/wp-content/themes/genexus/images/document/WWPTrainingCourse.zip>

WorkWithPlus for Web の Zoom によるオンライン集合研修は次のページをご確認ください。

<https://www.genexus.jp/training/566>

## 9. お問い合わせ先

本書に関するお問い合わせは

- ① パートナー企業を通じての評価の場合： パートナーご担当者様までご連絡ください。
- ② ①以外の場合：[customersupport@genexus.jp](mailto:customersupport@genexus.jp) までご連絡ください。